601
35

0053487000

0053487-000

601－35

アチックミユーゼアム彙報

アチックミューゼアム

第３８

昭１４

AIA

601
35

アチック　ミューゼアム彙報　第三八

新潟縣北魚沼郡湯之谷村

星家所藏種子帳・稻刈帳

アチック　ミューゼアム刊

アチック　ミューゼアム彙報　第三八

新潟縣北魚沼郡湯之谷村

星家所藏種子帳・稻刈帳

アチック　ミューゼアム刊

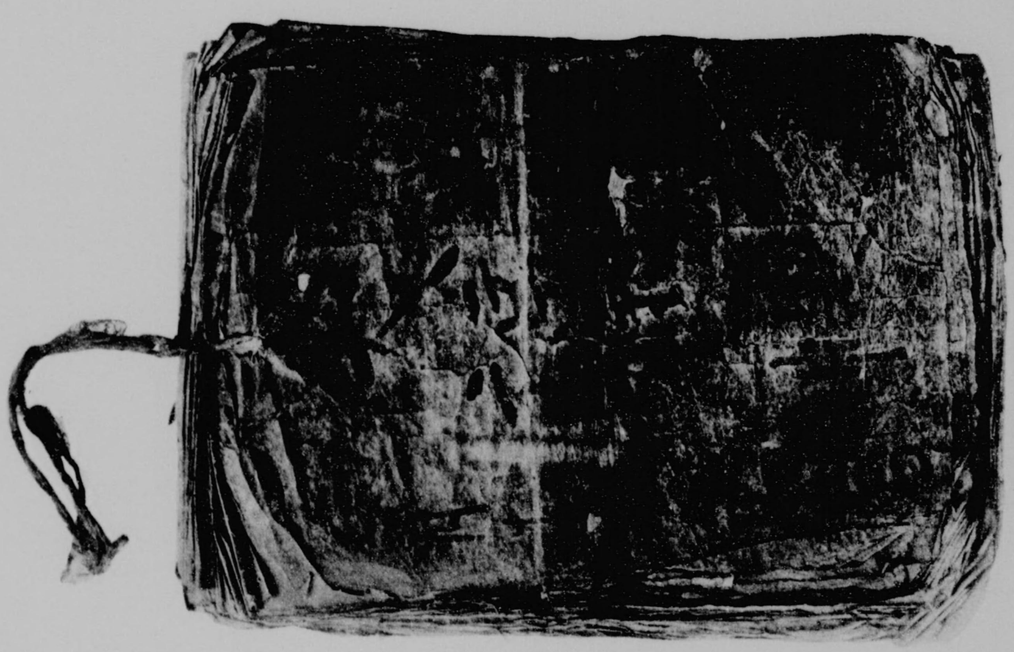
第一圖　芋川耕地繪圖（明和八年）（星　勇太郎家藏）

木川生之（禾氏撮

第一圖　芋川耕地繪圖（明和八年）（早　勇太郎家藏）

木川生之承氏撮

第二圖　大鵬種子幼



第三圖　同（赤外乾板に依る）

木川半之永氏撮

木川半之永氏撮

第四圖　大福寺帳の一部

第五圖　大福稻刈帳

木川半之丞氏撮

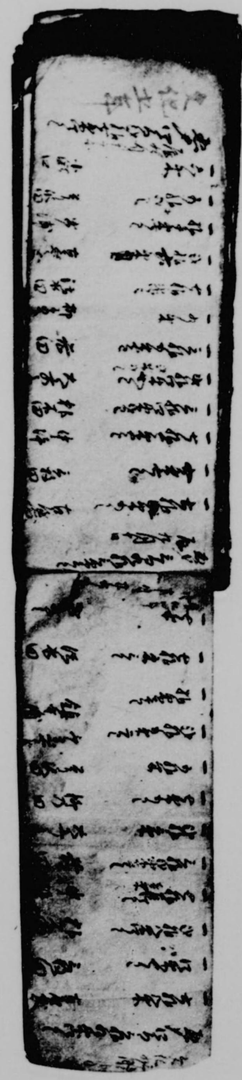
木川半之丞氏撮

第六圖　大福稻刈帳の一部

第五圖　大福稻刈帳

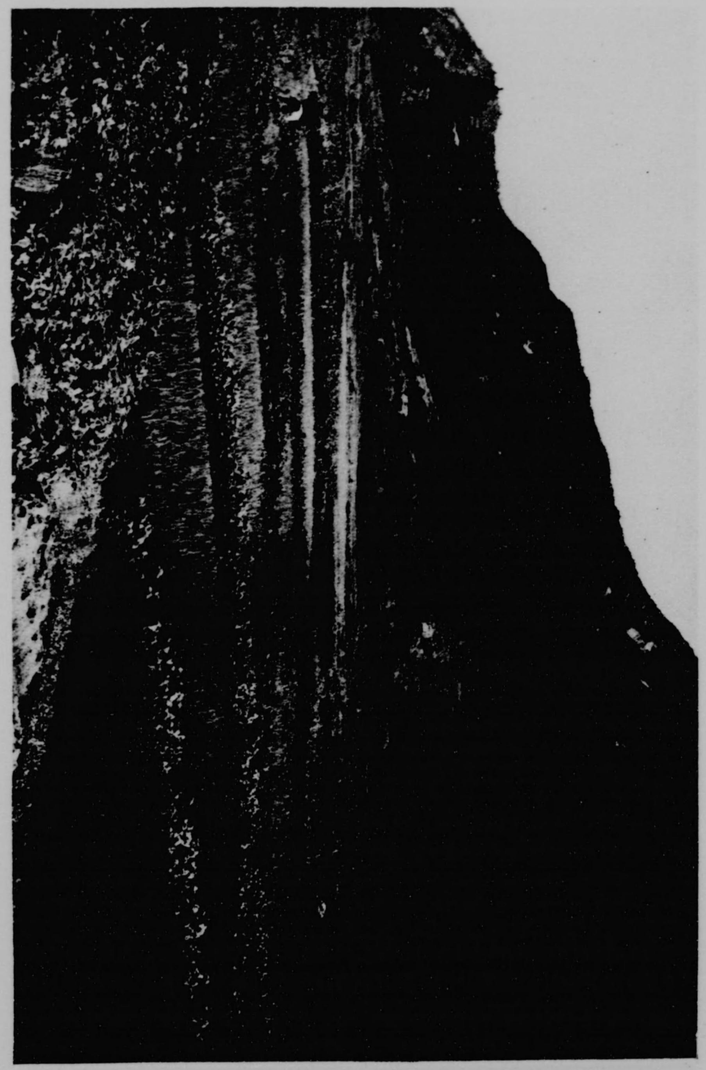
木川半之丞氏撮

木川半之丞氏藏



第六圖　大福稻刈帳の一部

第八圖　家



第七圖　田　（說明、解說參照）

第九圖　臺所

第一一圖　廁所

第一〇圖　種子入れ

第九圖　臺所

第一一圖　食事

第一〇圖　椅子入れ

601
35

新潟縣北魚沼郡湯之谷村

星家所藏種子帳・稻刈帳　目次

寫　眞……卷頭
寫眞解說……金子總平
解　說……金子總平
本資料の所在……二
湯之谷村と芋川……四
大福種子帳……五
大福稻刈帳……七
星家の家系……八
兩帳の筆者……一一
田の名……一一
稻種の名……一二
一三

第一二圖　廐

第一三圖　星家の家族

601
35 -

新潟縣北魚沼郡湯之谷村

星家所藏種子帳・稻刈帳　目次

寫　眞……卷頭
寫眞解說……金子總平
解　說……金子總平
本資料の所在……二
湯之谷村と芋川……四
大福種子帳……五
大福稻刈帳……七
星家の家系……八
兩帳の筆者……一一
田の名……一一
稻種の名……一三

第一二圖　帳

第一三圖　星家の家族

理想の田……一三
稻作の話……一四
地名解說（昭和八年及び寛政二年稻刈帳所記）……一六

資料

一 大福種子帳〔星吉右衞門〕……一九
二 大福稻刈帳〔星吉右衞門〕……九〇
三 大福稻刈帳〔守右衞門〕……一八三
四 稻こなしおほい帳〔星守右衞門〕……一八八
五 當いね加り改帳〔星守右衞門〕……一九三
あとがき……二〇一

附錄

明治十四年北魚沼郡播種場試作植物第一報告……二〇三
稻品種名初見表……二〇八
播種と收穫の比率……二一一
新潟縣管內氣象年數概表

星家所藏種子帳・稻刈帳目次　終

新潟縣測候所　卷末

寫眞解說

第一圖　芋川耕地繪圖

明和八年の御檢地の時の芋川村控の地圖、庄屋八右衞門、卽ち星勇太郎家藏。田、畑、川・道・山、を五色で色別してゐる。尙、寶曆五年の時のもあるが之は色彩もなく筆で細かに書き別けてゐるだけなので取らなかつた。

第二圖　大福種子帳

實物は縱二十糎、橫十五糎。

表紙が煤けてゐて、よく字が見えない。赤外乾板を使用したものは見え過ぎる位、字が浮き出すので、パンクロの乾板に紅色フイルターを以つて撮影したものをこゝに揭げた。寫眞は何れも木川半之丞氏の苦心にかかる。

第三圖　同右　赤外乾板に依るもの。

第四圖　大福種子帳の一部

表紙から五枚目を開けた所、何度か綴ぢ直したと見えて綴目の所は字が少しかくれてゐる。田の畦で矢立から筆を取り出して書いたと思はれる筆つきである。

第五圖　大福稻苅帳

實物は縱四十糎、橫十五糎。

表紙は種子帳ほど煤けてはゐない。それは長い帳面なので二つに折つて字の方を中にしておいたからだとも思はれる。

第六圖　大福稻苅帳の一部

表紙から二枚目の所。文化四五年の字が薄く見えるのは後から加へた朱筆であるからである。

第七圖　田

家のすぐ裏にあたる田の景で畑に續いて一番手近かの田二枚が苗代田で朴木田の分、それに續いて早稲田の上段下段と更に柳の下まで續いてゐる、山は上の山、左方の森は稲荷山である。

第八圖　家

所謂表中門（オモテチュウモン）付の家である。中門は入口で間口二間四尺、奥行四間そこに物置、便所、廐がある。本屋は七間四尺に三間五尺、中門の入口から入ると臺所である。奥に爐がある。右手が水所（ミンジョ）左手が茶の間で更に座敷と部屋がある。屋根のモンドグシは正式ならば中門をヤロウモンド（雌）にし本屋はホンモンド（雄）にする。

この本屋はホンモンドになつてゐない。入口の草は堆肥である。やがて山ほども積まれるであらう。

第九圖　臺所

表中門から入るとこの臺所になる。家で一番廣い間であるが土間に近い。藁シベをおいた上に荒莚を敷いただけで歩くとブク〳〵する。客あれば爐邊に薄緣を敷く。寫眞は敷いてある所で客座。そこを座敷と云ふ、其左が横座で右が下座（シタザ）座敷の前がカヽ座敷である。薪（ボヽ）は下座から入れる。右手の風呂桶の見える所が水所（ミンジョ）である。普斷は戸を立てゝあるが外して撮つた。

第一〇圖　種子入れ

臺所の火棚の傍の天井に釣されてゐるヒユータン（夕顔）である。何んでも種子の保存は一番之がよいと云ふ。ヒユータンの口は稲束で栓をしてゐる。さすが雪國だけに棟木や柱の大なるのが見られる。自慢の杉の棟木は七間半の通しで徑二尺餘もある。

第一一圖　便所

肥料を入れて運ぶソイオケが置かれ、紙入れのタスがかゝり天井からの繩は子供が肥壺に落ちぬ様につかまる用心繩である。お産の時の臍の緒を紙でこの繩に結んでおく家もある。左手に廐のマセ棒が二本見える。

第一二圖　廐

現在は使用せず物置場、ゴミ捨場の如くなつてゐる。正面に馬形の紙が張つてあり、左隅には秣桶がさがつてゐる。地面を掘下げて周圍を石で疊んである。どこの家の廐もかうなつてゐる。手前の木は取りはづしが出來る。そこから石段で中に入る。

第一三圖　星の家族

向つて左より榮太郎妻、榮太郎、福一郎、福一郎妻、五四郎、前列の子供、左より進、力、米子、千代子の諸氏。

解說

本資料の所在

「大福稻苅帳」、「同種子帳」は、新潟縣北魚沼郡湯之谷村字芋川の星榮太郎氏の家に傳つたもので、稻苅帳は文化三年より、種子帳は文化五年より夫々書起されて共に、昭和の今日まで書續けられてゐる。同家所有の田地に於ける稻の刈上高、植田と稻種の變遷等の記錄であるから約百三十年の昔に遡つて稻田の歷史が分るわけである。勿論、其間に於て兩帳共、多少の記載漏れはあるにしても貴重な資料と云はなければならない。

元來この兩帳は天明元年の大飢饉より書起されたものと云はれてゐる。榮太郎氏も天明二年から書付てある帳面を現實に見たと云ふ事であるが惜しいかな紛失してしまつて殘念であると述懷してゐる。今更どうにも致し方はないのであるがせめて文化からのが殘つた事は喜ばしい限りである。子爵澁澤敬三先生が同家を訪れた際、榮太郎氏に懇望されて本稻苅帳昭和十一年度の餘白に次の如くに誌された。

本書の類、其例多からざれど稀れに見る事あり、されど種帳と共に存するは蓋し稀有の事と思はる。本邦農業史上貴重なる資料として我等日本人、等しく當家祖先の注意と努力に感謝して可なりと思料す。

昭和十二年七月十二日

前述の如く天明の飢饉から書始められたと云ふのであるが別の家でそれ以前のものが發見された。卽ち明和八年度の「稻苅帳」及び「稻こなしおぼい帳」の二冊である。同時に又、寬政二年度の「いねかり改帳」も出た。是等は同村栃尾又溫泉、自在館所藏文書中にあつたものだが自在館はもと同村上折立の百姓庄屋であつたので之が保存されたのである。上記二冊は資料第三、第四として本編に採錄したものである。他村のそれに就いての事を餘り知らないのであるが、稻苅の覺帳は隣村の入廣瀨村大白川にもある樣であり、岩船郡の三面村三面にても現在書いてゐるし、山形縣西置賜郡南小國村や北小國村にても現在、田の神祭りに稻苅帳を供へてゐる所がある等の事から考へて、稻苅帳等と云ふものが飢饉の有無に關係なく日本の勤勉なる農民の手で書かれてゐたと思はれる。「アチックミューゼアム彙報第一」の早川孝太郎氏が校註された「愛知縣北設樂郡下津具村、村松家作物覺帳」はその間の消息を語る貴重なる資料である。綿密なる記錄は過去から現在、また未來へと刻苦勉勵の營みを爲す上には是非共必要なものなのである。此事は現在、書いてゐる榮太郎氏及び福一郎氏の體驗に徵しても知られるし、又、星家代々の先祖からも云ひ傳へられて守つても來た事なのである。此家にかうした記錄があると云ふ事が、どんな飢饉歲でも又天候不順な時でも力强く生きられ、百姓として大地にしがみつける素因ともなつて來たのである。

湯之谷村と芋川

上越線小出驛から湯之谷村に入る。遙か越の三嶽から佐梨川は流れて小出で信濃川の支流、魚沼川に合する。佐梨川の流域が湯之谷村である。この村の奥で會津との國境、銀山平へ越す枝折峠（明神峠）の麓に大湯と栃尾又の溫泉がある。昔、銀山平で銀採掘華やかの頃は、この湯之谷も相當出入があつた。銀山平探檢記（明治三十七年北魚沼郡役所發行、星秀文氏寄贈により祭魚洞文庫藏）に依ると文祿年間、小出島（小出町）から銀山までに都合、七ケ所の驛所問屋があつた、芋川にも置かれ星八右衞門の家がそれで、銀山御傳馬宿、芋川村へ被仰付候驛狀は星八右衞門所持罷在候事（銀山平探檢記、四十八頁）とある。銀山採掘は寛永年間から安政年間まで斷續したものである。

芋川は人口四百三十人、田、二十四町三反四畝、畑、五十五町七反八畝（昭和十年現在）ある農村であるが、山も亦、主要な生活面である。昔は山稼ぎとして銀山の外に、鱒獵、羚羊鹿取りをして鱒川役、羚羊皮役を上納してゐる。又熊狩もあつたが之に就いてはアチックミユーゼアムノート第十三、拙著熊狩雜記を參照せられたい。其他春の青物　秋の茸類の牧穫や、木鋤、鉞柄、下駄臺、柄杓、杓子、曲物類の製造、炭燒きは勿論である。斯く生活が多角的であるから無理な算段さへしなければ安樂に生活出來る筈の村であつた。

然し一方湯之谷村は北の國、雪の村であつた。春五月にならぬと雪が消えない。十二月にはもう根雪が來る。

一年の半は雪に鎖される雪國だ。卷末の新潟測候所の觀測統計表を見て戴けば自ら知られるが日本でも稀な降雪地である。雪のある間は生活の動きがとれない。只春を待つばかりである。八十八夜がすぎてやつと苗代が出來る。やがて駒ケ嶽の雪が消えかけ頂上近くの岩が恰も馬で田掻きをしてる如く現れると農繁期に入る。七月、半夏生の頃は消え殘つた雪の形が蓑着て笠かぶつたお爺さんが豆撒く姿に見えると云ふ。夏だけが稼ぎ時だ。九月の風はもう冷たい。やがて霜が來る。十一月には雪が降つては消え、消えては又積る。荒涼の冬となる。かうした四季の生活を規定する行事も色々あるが後日の事にする。以上、農を主とし山稼ぎもしてゐるのが湯之谷村であり芋川である。

大福種子帳

半紙を四つ折りにして横に綴ぢた帳面である（寫眞參照）、半紙と云つても田舍半紙で所謂地紙である。表は「種子帳」になつてゐるが裏には「のし」とか「進上」等の字も見える紙も使用してあつて丹精したものである。稻苅帳も同樣な事が云へるのであつて此一事からも勤勉な越後百姓の心根が知られるのである。

帳面の表紙には文化五年と書かれてゐるから此年から書起されたものかと直觀される。然し出版に當り福一郎氏の筆寫されたものを原本と嚴密なる校訂の勞をとられた藤木喜久麿氏の取調べる所によると、どうも最初の十年間に聊か喰ひ違ひがあり書き出しの文化五年と云ふ年代が聊か疑はしい。それと云ふのも文化何年との書入れ

は後世の加筆であつて最初のものは午の年とか酉の年とか書いてあるのみである。それに依り整理して見ると年代が一致しない。文化九年以後は年代的に見て疑問はない。文化九年から元治元年まで及び明治十二年以後昭和の現在まで毎年書續けてゐるが其間の慶應元年から明治十一年までの十四年間分は缺けてゐる。之は大正になつて家財整理をした時に反故の中に入れてしまつたものとか云はれてゐるのである。誠に殘念である。次にその内容を見ると何年の何時に苗代にどんな種類の稻を何程蒔いたか、更にその種子米の惣計はどの位か書付てゐるのである。

故にこの數字から色々な事が證明され興味ある問題を提供するものと考へる。例へば種子の蒔き方が昔程、厚蒔きであつた、それが次第に薄蒔きになつたとよく云はれてゐる事だがその具體的な證明も可能であるかと思ふ。書出しに一、二、三抔と書いてその下に何升何合何と稻種名を書いてゐるがその一二三は苗代田の枚數を云ふのである。故に、弘化二年の條だが一枚田、二枚田とも書記してゐる。而して一枚の田の面積には變化はないが苗を仕立てる桁（ケタ）の數は一定してはゐなかつた。一桁の面積は四坪で、幅四尺、長さ六間の長方形である。「苗ハ二ケタモ餘リタリ」（昭和八年の條）と云ふケタは之である。

種子帳を書付けた時と所は種子を蒔く時、田の畦で書付けたものだと云ふ。即ち田の畦に立つて見てゐて蒔き終つた所ですぐ矢立から筆を取出して何升何種のものと書き記したのである。

大福稻苅帳

半紙を二つ折にして横に綴ぢた長い帳面である。（寫眞參照）、原本は二冊ある。一冊は文化三年から明治卅一年迄。他は文化三年から現在迄、書續けてゐる。後者は星榮太郎氏が作つたもので其帳面の表紙に明治廿九年丙申冬十月改書となつてゐて明治卅一年迄のを寫し更に現在迄、書續けたものである。一冊しかないのは心細い事だからもう一冊作つたのだと榮太郎氏は語つた。是はどこで書いたかと云ふと、種子帳と違つて刈上げて家に歸り夜になつてから其日其日でどの田は何束何わであつたと記した。そして最後に總計を書いたのである。

年代は初めから天保五年迄は年號でなく干支で書いたものである。其他に於ても年號記入なき所へは朱筆で加へてゐるが、種子帳の如き干支の混亂はない。然し別の疑問がある。それは原本を見て紙の新舊から直觀されるだけで確たる根據はないが、紙がすべて褐色に或はそれに近くなつてゐるのに非常に新しい紙が綴込まれてゐたり、又張付けられてゐる所がある。それは文政十年の綴込み、天保四、六、七年の張紙である。更にその書き方にも聊かの不審があり、强ひて云ふならばその前後を見て適當な推量的數字を入れたのではないか、即ち想像だがそこに脫落があつたので辻褄を合せて年代の連絡をつけたのではないかと思ふ事である。

次に各年度の刈上げ合計であるが、すべて、必ずしも正確ではない。例へば嘉永三年の合計は一度書上げて後

に間違ひを發見したので張紙をして訂正してゐる。其他、安政元年の條も紙が新しく張りつけてある。然し間違ひを發見できず、其儘にしてあるものもある。校訂された藤木喜久麿氏は比率表を作成の時に明らかな誤りはそれを傍に訂正されたものがあつた。

終りに稻刈上げ計算の標準單位等に就いて榮太郎氏の話を書く事にする。

一本の稻穗は米粒が百二十から二百五十はある、三百とあつた事はないと。稻穗百二十本位が一ト手になる稻株數にして云へば上等の出來の良い場合の稻で七、八株、中等で十株、下等稻で十五六株位になる。尙、一坪の稻株數は五、六十あると。一手は一摑であり、二摑が一稻架、三摑が一把、八把が一束である。但しこの場合は地干しである。稻架干し（羽座稻）の場合は十二把が一束になる。昔はよく地干しをしたが今は多くハツテ竿にかける。一束の米の量は平均四升五合で之は六坪の田から刈上げられる。六坪が一束刈、一畝が五束刈、一反は五十刈が標準である。

星家の家系

星家に傳はる過去帳から系圖を書出して見る。

星家系圖

一代　忠右衛門（元祖院西岸淨舟居士）延享四年正月十四日

二代　吉右衛門（源德院觀阿覺心法師）明和八年八月十八日

三代　伊右衛門（光德院梵至惠戒居士）寶曆三年八月八日

四代　佐平治（廣運院見心道諦居士）文化四年八月十五日

五代　松太郎（遍照院湛然實相居士）天明五年九月廿四日

六代　辰治郎（明照院廣大德性居士）天保元年三月十日

七代　伊三治（慈德院大寶能照居士）安政四年十一月十五日。——七十五歲

八代　吉三郎（普照院光明大學居士）明治廿六年九月廿二日。——八十四歲

九代　吉治郎（開寶院大圓相運居士）明治卅一年舊五月廿四日。——七十四歲

十代　幡藏（光明院鑛阿性淨居士）明治卅八年舊四月七日（五月廿一日）——六十三歲

現在の家族（昭和十二年八月現在）

十一代　榮太郎夫妻　六十七才　妻クリ六十一才　末子、五四郎　二十九才——滿洲國黑龍移民團に入る豫定。

十二代　福一郎夫妻　四十三才　妻トラ四十一才　長子進　十一才　次子力　六才　長女千代子　十四才　次女米子　九才

榮太郎氏の談を中心に記す。忠右衛門が星家の先祖である。忠は仲とも書いた。系圖によると延享四年に歿してゐるから今から百九十年より前にこの芋川に此家を興したのである。此位の歷史が分らない事はないのだが判然しないのである。芋川の或舊家の分家らしい。二代目吉右衛門が星家を華やかにした人であ

る。故に吉右衛門の名稱は、代々の戸主の名告りとなつた。此人は又、村の慈善家としても名高かつた人であつた。不作の時などは村人の爲め自分は食べなくとも救濟の手を伸べた人だつた。かゝる心の人故、平常も煙草は一度に二服より吸つた事なく、常に他人に對しても百姓は煙草なんどと云ふものは二服より以上吸ふものではないと戒めて居たと云ふ。晩年は村に閻魔堂を設立し夫婦して堂守となつた。戒名を吉右衛門は觀阿覺心法師、妻女は月照院圓貞法顏比丘尼とされた位に、專心、佛門に歸依したのであつた。今も殘存する十王堂がそれである。

三代目伊右衛門は吉右衛門と兄弟であつたが不幸短命であり、其後は吉右衛門の末子が伊右衛門の子として繼いだ。四代目佐平治である。佐平治の子で五代目の松太郎も短命であつた。六代目辰治郎は同郡廣瀬村田尻から入婿となり星家を繼いだ。彼は二代目吉右衛門と云はれた人で中々の働き者であつた。現在の家の以前には辰治郎が家を建てたと云ふ事である。かゝる働き者であつたからこの「稻苅帳」「種子帳」をも書き出した人なのであらう。

辰治郎には男子なく七代目伊三治も娘の婿に來たのである。彼は小出、佐梨の櫻井治右衛門の子である。伊三治の子、八代目吉三郎と九代目吉治郎とは十歳違ひの兄弟で夫々家を繼いだ。兄の吉三郎は八十四歳迄も生きた人で一日一人で田三段の鼻取り（馬耕）をした位の働きがあつた。書道にも秀で寺澤流を習つて居たと。弟の吉治郎の子が十代目幡藏である。此人も體格の良い働き者で現在の家（寫眞參照）を建てた人である。

兩帳の筆者

榮太郎氏の話では六代目辰治郎が兩帳を書始めたと云ふ。辰治郎は天保元年に歿してゐるが、中々の働き者であつたと云ふから天明の飢饉に直面した後、かうした稻田のメモを作成しようとしたのも實にもと肯かれる。其の以後に於ては星家代々の當主が兩帳共書續けて來たのである。斯くて明治になつて榮太郎氏の手で稻苅帳の方は複寫が作られた。更に內容から云ふと記事が豐富になつた。卽ち單なる稻苅の記錄帳でなくそれに關連した色色な經濟記事（物價や賃金等）や天變地異（暴風雨や大雪等）の事が記載されるに至つた。故に改書の年、明治廿九年以後に於て、かうした記事が多く見られるわけである。斯くて今日に至り嗣子福一郎氏が書續けてゐる。

田の名

名の宛字に相當、異動があるが同一田と思はれるものを列記すると

一、朴木田、ふの木田、朴田、柯木田。
二、柳下、柳の田、柳木の下。
三、清水田、水清田、水清水田。
四、古じやうど、ふるじやうど、古上ど、古ぢう土。

五、そり澤田、其り澤田、そて澤田、そで澤田、袖澤田、そ手澤田。

六、木伐澤、木切澤、木々り澤。

七、野ち田、やち田、屋ち田、谷地田、谷内田、谷千田。

八、ひどろ、火藤ろ。

九、宇津能、宇津野、うつの。

十、わなて、和名て口、和長手、和奈手。

十一、殿畑、殿畑ケ、藤畑、藤之畑。

十二、中坪、仲坪、伸坪。

以上がその主なるものだが此外に約四十九、合計、約六十一の田の名が數へられる。約と云ふのは明確ならざるものがあるからである。其中で終始見られる名は「柳下」のみであり現在も判然してゐる（寫眞參照）勿論その地域は耕地整理もあつて昔の儘ではない。昔は大きな柳の木が畔にあつた、そのしも手であつたので其名があると云ふが今は見られない。

元來、田の呼び名は村の字名と必ずしも一致せず、各家で勝手に自家所有田につけたものであつた。現在の芋川耕地の字名から稻苅帳に出てくる田の名を擧げると次の八つである。岩鼻、一里塚、川久保、袖澤田、山ノ下（中坪）中山、殿畑、原。そしてこれらの地域が稻苅帳のそれと同一だとは云へないであらう　只便宜、借りて呼

んだものと思はれるのである。

稻種の名

種子帳に約百二十一の種子名が數へられる。其は同種子を同じ田に植付けると減收するからでどうしても新種を入れて田を換へなければならなかつたのである。其爲に一覽表に依つても分る如く二年から三年經つと必ず新種を入れたのである。今、宛字は異なるも同一と思はれるものを列記しておく

陣場、仁場、甚場、林場。滿七、萬七。作藏見志、作藏見出し。白龍山、汁龍山。

盆ずへ、分ずへ、ぶずい。上方種、上形種。

その他、普通による宛字も相當あるが略する。漢字の讀方の判明してゐるものだけは適宜傍訓をつけた。原本にはないのである。其他は原本の體裁に忠實に勤めた。

理想の田

土地が乾燥地で陽當りがよく、田の中央は端よりも幾分低くなければならぬ。低いと云つても中央に向ひ漸次に一寸五分位の窪味をつければよい。二寸と云へば最高である。なぜ中央を窪くするかと云ふと太陽熱と肥料とを行渡らせる爲めである、窪くする事に依り稻を平均に發育させる事が出來るのである。故に屋家の田は皆、さ

うしたし常にさう云ふ状態にある様に努めてゐる。形は四角よりも長いのがよい。それは水廻りの關係で、横三縦六の割合の矩形にする。そして水の引き方は田の隅から少し下つた所に水口をつけ、出口はその對角線上にお く、即ち水口が左上なら出口は右下になるのである。

田の常に耕す土をアマツチと云ひ耕さぬ土をニガツチと云ふ。十年位經つと田がうまく出來なくなるから其時にアマツチとニガツチとを混ぜるために深耕する。堆肥に就いては何代か研究してよく腐らせる様に教へられてゐる。（屋榮太郎氏談）

稲作の話

スジマキ（早苗の仕立）は土用明け一週間位からである。苗代田は雪消後、一週間位乾かしてから田打ちして三四日陽にあて三方鍬でコギつて肥料をやる。坪當り加里（木灰）二百匁硫安五十匁燐酸五十匁で施肥して田掻き（マンガヮ代用品使用）四五回で灌水して田の全部をしめ一日後排水して溝と幅四尺のマキ床を作る。更に灌水して一日後蒔く、坪二合撒き。稲種子は一週間水につけてからあげて鹽水で洗ふ。そして二晩八十度から九十度位の湯の中につけ發芽したのを撒く。

田植は六月になつてからで五月にはない。早い時で六月一日、普通は六月廿日迄に終る。遲れた時で七月五日と云ふのを覺えてゐる、昭和十一年度は六月廿日に始まり廿七日に終つた。

本田は雪消後一度畔塗りをしてから田打し反當りの施肥、石灰十五貫を撒布した後、一週間位して堆肥、三百貫から五百貫、金肥として大豆粕六貫位、硫安二貫、過燐酸五貫を入れ、コギつて田掻きする。畔には豆を植ゑる。粒入れである。やがて苗成熟して田植ゑとなる。

除草は三度するが始めの二度には追肥をする。昭和十一年度の一番除草七月十一日。追肥反當り木灰十五貫。二番除草七月廿五日追肥反當り鹽化加里五貫。硫酸アンモニヤ一貫五百匁。三番除草八月三日。畔の刈拂ひは除草の度毎にする。

刈上は十月の彼岸過ぎ。早い時は九月廿日過ぎに刈りにかゝつた事があつたが普通十月廿日頃が刈上げ終ひ。乾上は十一月三日明治節の頃迄にする。此日がオトゼツク（刈上げ節句）で休む日である。乾上げる方法はハツテカケでハツテ竿にかけて干す。又高さ二間位、徑七、八尺のイナニュウに積んだものだが、米が濕つて惡くなるから近頃は餘りしない。

稲場（イナバ）寄せと云ひ、ハザから家の中に取つて來る。秋祭（アキゴト）が終り雪が降り出し十二月になつて餅でも食べてから米搗きをする。稲扱して米に作るに臼しきの時は一斗二、三升入の土臼でする。十年前迄はよくした。杵で搗くに一日一人二俵搗けば腕がよいとされた。玄米からはげたものをコヌカと云ひ、籾の混じてゐる惡い米をイルゴと云ひ、よくイルゴ餅にした。以上の話は芋川の半兵衛の家の滋さんの話と福一郎氏の話とを混ぜ合せたものである。

尙稻作の話で思出すのは芋川の佐兵衛の家に代々記錄として年貢相場と云ふのがある。享保元年からあつたと云ふが現在、享保十一年から昭和迄ある。冬十二月の時の米相場で一俵代と一斗代とを年號と共に書付けてゐる、貫文、兩朱、圓錢と云ふ單位が見られる。

地名解說（明和八年及び寬政二年稻苅帳所記）

一、大く利、大栗で大きな栗の木の下。
一、もち田口、もち田の澤の入口、もち田とは餅米を作る田の意で普通の米の出來ない樣な所が餅米の田によいとされた。
一、下て川はた上通り、下手と云ふ地の川原にある田、下通りと上通りとに分る。
一、下て田上中通り、下て川原へ下る道の兩側。
一、下てふの木原、下ての朴の木のある所の田。
一、下てみち上、現在の縣道の上。
一、前川はた、前の川原にある田。
一、下ていけのふ、下手、池の府で小池のある所。
一、下て久助田、久助と云ふ人の堀つた田。
一、なわしる、苗代。
一、辰右衞門前、辰右衞門の家の前。辰右衞門はもと守右衞門の家の作男だつたが分家して水呑辰右衞門となつたのである。
一、こさか、現在の小坂。
一、もり下、森ノ下、林の下にある田。
一、かやば、萱場。
一、もまへ谷、五枚澤。（同村上折立、富永清策氏報）

星家所藏種子帳・稻刈帳

一　大福種子帳

（表紙）

文化□芋川村

大福種子帳

四月十六日　星吉右衛門

文化五巳（六カ）年

〔星吉右衛門〕

一　壹斗八升　苅子
　　壹斗七升　白龍山
　　五升五合　本明

二（貳斗四升　苅子

三（壹斗六升　本明

四　四斗五合　白餅
　　貳升三合　黒餅
　　五升　苅子

（九斗二升三合）
〆八斗八升

覺　午の年

四月廿四日

一〈貳斗七升　かるこ
　九升五合　うかのひれ
　四升　本明

二〈壹斗貳升　かるこ
　壹斗貳升　龍山

三〈壹斗七升　本明

四〈五升　黒餅
　五升五合　白餅
　貳升五合　うかのひれ

惣〆九斗五升(四)五合

覺　未四月九日

一〈貳斗三升　かるこ
　壹斗五升　龍山

二〈壹斗五升　(う)をかのひれ
　五升　(摺カ)いりかるこ

三〈貳斗壹升　本明

四〈三升貳合　黒餅
　五升　白餅
　九升　かるこ

惣〆九斗六升五合(二)

一〈三斗九升　かるこ

二〈四升　本明
　貳升　いり龍山
　壹斗九升　龍山

三〈貳斗升壹升(新)　本明

四〈三升　黒餅
　五升貳合　白餅
　六升　赤龍山

四月十七日

惣〆九斗九升貳合

四月六日

一〈五升　本明
　かるこ　壹斗
　七升　赤龍山
　貳斗　白龍山

〆四斗一升

二〈貳斗五升　かるこ

三〈貳斗壹升　本明
　五升五合　白龍山

四　三升五合　白餅
　四升　黒餅
　貳升　赤餅

〆壹斗五升

惣〆壹石三升

文化九年四月十日

一 三斗五升 かるこ
　 七升 龍山
　 三升 本明
　 〆四斗五升

二 貳斗七升 龍山

三 貳斗壹升 本明

四 貳升 黒餅
　 貳升五合 赤餅
　 四升 白餅
　 貳升 赤龍山

惣〆壹石三升五合

文化十年四月廿二日

壹 三斗三升 かるこ
　 壹斗 龍山
　 貳升 本明

二 貳斗七升 龍山

三 貳斗壹升 本明

四 壹升五合 黒餅
　 貳升五合 赤餅
　 白餅 三升
　 三升 本明

〆壹石貳(三)升

文化十一年(いぬ)四月三日

壹 三斗三升 かるこ
　 壹斗 白龍山

二 貳斗七升 龍山

三 貳斗壹升 本明
　 壹升五合 黒餅

四 壹升五合 赤餅
　 三升五合 白餅
　 三升 本明
　 三升 龍山

〆壹石(三)六升五合

亥四月十一日

壹 三斗四升 かるこ
　 壹斗貳升 龍山

二 貳斗八升 龍山

三 貳斗壹升 本明
　 五升七合 白餅

四 三升 黒餅
　 五升 本明

〆壹石八升七合

ね年四月廿一日

壹 三斗三升 かるこ
　 壹斗 龍山
　 二 三斗 龍山

三　貳斗貳升　本明
五升　白餅
四　四升　黒餅
本明　五升
〆壹石（九斗）壹斗貳升

一　壹斗六升　かるこ
一　貳斗三升　龍山
二　貳斗五升　龍山
三　貳斗壹升　本明
四　六升　いり出
三升　（豪カ）□餅
四升五合　白餅
五　壹斗　本明

外　五升　龍山
外　五升　大黒

四月十五日

一壹石（二）壹斗八升五合

う四月廿七日

一　三斗四升　龍山
八升　丹後
二　貳斗五升　龍山
三　壹斗九升　本明
三升　本明
貳升　本明ほのき
四　五升　白餅
四升　（豪カ）□餅

文政五年（三）四月九日

一　貳斗「（後筆）六升」　龍山
壹斗五升　丹後
一　貳斗　龍山
三升　丹後
一　貳斗壹升　本明
四升　黒餅
一　五升五合　白餅
龍山　四升
（九斗八升五合）
〆壹石壹升

文政巳四月十八日

一　四斗貳升　丹後
此之内龍山壹斗六升

一　貳斗七升　龍山
一　貳斗壹升　本明
三升五合　黒餅
一　六升　白餅
四升　龍山
〆壹石三升五合

馬ノ年四月二日

一　壹斗四升　龍山
貳斗　丹後
四升　本明
一　三斗　龍山

一　壹斗六升　本明
　　三升　黒餅
一　五升　ぶづへ餅
　　四升　本明
〆九斗六升

ひつし年四月十三日

一　壹斗六升　龍山
　　貳斗八升　丹後
一　貳斗八升　龍山
一　壹斗九升　本明
　　五升　本明
一　三升　黒餅

六升　ふづい餅
（土用）とうよあいて十六日めまく
〆壹石五升

（申）甲四月廿三日

一　壹斗四升　龍山
　　三斗　丹後
二　貳斗五升　龍山
三　貳斗　本明
四　四升　黒餅
　　四升五合　ふづい餅
　　六升　いり出し

甲四月廿日
〆壹石三升五合

四月五日

中田（手）貳升五升　龍山

一　貳斗九升　丹後
壹枚
一　壹斗四升　龍山

三　壹斗九升　本明

四　四升八合　白餅
　　三升　黒餅
　　六升　本明
〆壹石八合
酉四月

覺

犬四月十六日

一　壹斗四升　龍山
　　貳斗五升　丹後
二　貳斗五升　龍山
三　貳斗壹升　本明
　　三升　いり龍山
四　六升　ふすい餅
　　四升五合　黒餅
〆九斗八升五合

いの
四月廿五日

一 壹斗四升　龍山
　 貳斗六升　丹後

二 貳斗四升　龍山

三 貳斗　本明

三升五合　黒餅

四 四升五合　ふすい餅
　 貳升　丹後

〆九斗四升

四月十日

一 三斗六升　丹後

二 貳斗　龍山

三 壹斗八升　本明

五升　本明

四 三升　黒餅

四升五合　ふすい餅

〆八斗六升五合

四月十九日

一 六升　龍山

一 貳斗九升　丹後

三 壹斗八升　本明

二 貳斗壹升　龍山

四 四升五合　本明
　 三升　黒餅
　 五升　ふすい餅

四月十九日

〆八斗六升五合

とらの年
四月二日

一 九升五合　龍山
一 貳斗六升　丹後

二 貳斗貳升　龍山

三 壹斗七升　本明

四 貳升　本明
　 五升　ふすへ餅
　 三升三合　黒餅

〆八斗四升八合

うの年
四月十二日

一 八升　龍山
　 三斗　丹後
　 五升　□たへ

二 貳斗四升　龍山
　 此之内三升たねすじ間

三 貳斗壹升　本明

五升　黒餅
四　五升　ぶすへ餅
五升　本明
〆壹石三升

辰ノ四月廿三日巳是をまく

一　九升　龍山
貳斗八升　丹後
二　貳斗七升　龍山
三　貳斗　本明
四升　黒餅
四　五升　ぶずへ餅
三升　本明

〆九斗六升

巳四月六日まく

一　九升　龍山
三斗　丹後
二　貳斗五升　龍山
三　貳斗　本明
四升　黒餅
四　四升　白餅
三升　本明
〆九斗五升

巳四月六日まき

五升　丹後
一　五升　岩ノ下
八升　龍山
〆壹斗八升　忠左衛門分

午四月十一日（土用）とうよ明て十三日めまく

一　貳斗五升　丹後
壹斗壹升　龍山
二　貳斗貳升　龍山
三　貳斗壹升　本明
三升　本明
四　貳升　びぜん
白餅　四升

五升　黒餅
五　四升　山光龍山
壹斗三升　龍山
一　外五升　與兵衛なわしろかりてまき申ゟ
〆壹石壹斗六升（五）

示（未）四月廿六日　とう（よ）明十六日

白大黒　八升五合
一　貳斗五升　丹後
七升五合　龍山
二　貳斗四升　龍山
三　貳斗　本明

八升　黒餅
四　壹升　ふすへ
壹升　いが餅
貳升　五前餅
五升　本明

五　六升五合　龍山
壹斗壹升　山と龍山
〆壹石壹斗九升五合

一　八升　丹後
貳斗六升　龍山

二　壹斗四升　龍山
七升　本明

三　貳斗　本明
三升　丹後
四　貳升　白餅
壹斗壹升　黒餅
前田　五升　白大黒
五升　岩の下
八升　山と龍山
申四月六日まく
〆壹石九升

酉年四月十七日

貳斗貳升　龍山
一　八升　丹後
五升　べん龍

二　八升　本明
壹斗　龍山

三　貳斗壹升　本明

四　壹斗三升　黒餅
三升　分すへ

壹斗　大和龍山
五　八升　白大黒
壹斗壹升　龍山

六升　岩の下
六　貳升　こほれ
壹斗　龍山
〆壹石三斗(七)五升五(〇)合

土用四月三日明く
土用明て十五日めにまく

一　壹斗貳升　べん龍
壹斗六升　龍山

壹斗壹升　赤龍山
一　四升　上原いり出
壹斗壹升　本明

一　貳斗　本明

一　壹斗五升　黒餅
貳升　せんかうじ(善光寺)

五　七升　白大黒
　貳斗壹升五合　龍山

大工ノ上

八升　岩ノ下
六　五升　け龍山
　貳斗三升　龍山
〆壹石五斗五升五合
土用明て十三(日)めにまく
　同土用四月十三日明
　戊四月廿六日

八升　龍山
一　壹斗三升　赤龍山
八升　ぺん龍

壹斗　上原
二　壹斗　白大墨(黒)
　壹斗壹升　本明
三　貳斗　本明
四　壹斗四升　墨(黒)餅
　三升　前光寺(法)餅
五　三斗壹升　龍山

大工上

貳斗五升　龍山
六　壹斗　岩の下
〆壹石五斗三升(六)

亥四月九日
　土用明て十五日めまく

一　八升　へん龍
一　貳斗貳升　龍山
一　壹斗貳升　赤龍山

二　壹斗壹升　本明
　八升　上原いり出

三　壹斗七升　本明

四　壹斗三升五合　黒餅
　貳升五合　白餅

五　貳斗六升　龍山
一　壹斗　白大墨
一　壹斗　岩ノ下
一　八升　満七
一　壹斗四升　龍山
　子四月廿二日
〆壹石六斗貳升
　土用明十八日めニまき

壹枚　壹斗貳升　上原
　貳斗五升　龍山

二〃　貳斗　本明
　四升　赤龍山

三〃壹斗八升　本明

四〃　壹斗三升五合　墨(黒)餅
　　三升　分隨餅

五〃貳斗八升　龍山

六　壹斗　大工上　萬七
　八升　べん龍
　八升　白大黒
　三升　大墨(黒)
　六升　龍山

〆壹石五斗八升五合

天保十二年
　丑四月二日まきゐ所
土用明て十七日めニまく

壹	壹斗貳升	へん龍	
	壹斗八升	龍山	
二	壹斗八升	本明	
	貳升	龍山	
三	壹斗八升	本明	
四	壹斗壹升	墨餅	
	貳升		
	三升	分すへ餅	
五	貳斗八升	龍山	

大工上

三升　いり出し
壹斗　上原
一　壹斗五升　万七
　四升五合　龍山

物〆壹石四斗四升五合

天保十三年
寅四月十一日
　土用明て十五日めニ蒔

壹升　龍山
壹　三斗五升　龍山
　貳升　龍山

貳	壹斗壹升	べん龍	
	壹斗五升	本明	
三	貳斗	本明	
	壹斗三升	墨餅	
四	三升	分すへ	
	四升	撰出し	
	八升五合	龍山	
五	五升五合	龍山	
	壹斗	上原	
	大工上		
六	七升	万七	
	貳斗三升	龍山	

〆壹石五斗八升
天保十四年
卯四月廿一日
土用明て十四日め二蒔

一　壹枚三斗五升　龍山
二　九升　上原
　　壹斗五升　本明
三　壹斗六升　本明
四　壹斗貳升　墨餅
　　四升　分すへ餅

五升　へん龍
五　壹斗五升　龍山
七升　万七
大工上
六　三斗壹升五合　龍山
惣〆壹石四斗九升五合
天保十五年
土用明て十六日め二蒔
辰四月五日

覺

巳四月十三日
一枚田　壹斗壹升　べん(龍カ)より
　　貳斗三升五合　龍山内

二枚田　本明　壹斗貳升
　　白新保壹斗貳升

三枚田　本明　壹斗八升

四枚田　五せん(御膳)餅　三升八合
　　壹斗　黒餅
　　龍山　貳升

五枚田　上原七升五合
　　万右衛門壹斗七升五合
　　龍山七升

〆壹石貳斗四升三合
土用明て十三日め蒔
四月十三日
弘化二年巳四月十三日

一　貳斗七升　白新保
　　壹斗五升　二日蒔　龍山

二　六升　本明
　　貳斗　上原

三　貳斗　本明
　　壹斗三升五合　墨餅

四　壹升　べん龍
三升　後前(御膳)餅
壹升　二日蒔　墨餅
壹斗五升　龍山

五　壹斗三升　早稲大黒
三升　べん龍
〆壹石三斗七升五合
弘化三年
午四月廿五日
土用明て十六日めニ蒔

一　四斗三升　白新保
二　五升　本明
貳斗壹升　上原
三　貳斗貳升　本明
壹斗三升　白新保
墨餅

四　三升　後前餅
三升　べん龍
五　壹斗　岩下
五升　仁場（甚）
三升　へん龍
壹斗五升　白新保
〆壹石四斗三升
弘保（化）四年
未四月三日
土用明て拾三日めに蒔

壹斗貳升　甚場
一　壹斗　上原
壹斗七升　新保

二　壹斗　上原
壹斗六升　岩之下
三　貳斗　本明
黒餅　壹斗四升
四　後前　三升
貳升　甚場
五　貳斗八升　新保
〆壹石三斗貳升
嘉永元年四月十六日
土用明て十四日め蒔

壹斗　上原
一　壹斗　龍山
七升　甚場
壹斗　新保
二　壹斗三升　本明
壹斗六升　岩之下
三　貳斗壹升　本明
四　壹斗三升　墨餅
三升　後前餅
五　三斗　新保
〆壹石三斗三升
土用明て十五日め蒔

嘉永二年
酉四月廿七日

壹斗　甚場
五升　本明
一　壹斗貳升　岩之下
　壹斗四升
　二日まき

貳斗　上原
二　壹斗　岩之下

貳斗貳升　本明
三　壹斗三升　墨餅
四　三升　後前餅
　貳升　墨餅
　二日まき

五　三斗六升　白新保
　大工上

一　貳斗貳升　岩之下
　〆壹石六斗九升　白新保
　土用明て十五日め蒔
嘉永三年
　戌四月八日

壹斗貳升五合　新保
一　六升　本明
　貳斗　上原

二　壹斗五升　撰出し
　壹斗壹升　陣場

三　貳斗　岩之下
四　壹斗壹升七合　墨餅
　四升　盆ずへ

五　三斗　新保
　大工上

一　貳升　新保
　壹升五合　墨餅
　〆壹石五斗壹升七合
嘉永四年
　亥四月十八日
　土用明て十四日め蒔

八升　新保
一　貳升　刈稻
　壹斗七升　上原
　壹斗　陣場

三升　岩之下
二　壹斗八升　撰出し
　三升　小紫

三　貳斗　岩之下
四　壹斗壹升五合　墨餅
　三升　盆ずへ

五　貳斗八升　新保

一　貳斗三升　新保　家ノ前
　四升　下田　新保
〆壹石五斗五合
嘉永五年
子四月八日
土用明て廿二日め蒔

壹斗貳升　銀山稻早（生カ）
壹斗　陣場
一　七升五合　稻苅
五升　新保
壹升五合　岩之下
穗ぬき壹升五合　新保

壹斗三升　撰出し
二　七升　岩之下
六升五合　小紫
三　貳斗壹升　岩之下
四　壹斗三升　墨餅
四升　分ヶへ餅
五　貳斗九升　新保
六　壹斗八升　柳ノ下
新保
〆壹石四斗九升
嘉永六年
丑四月十三日
土用明て十六日め蒔

壹
壹斗貳升　新保上切
壹斗六升　新保　二日蒔
五升　稻苅
七升　陣場

五升　撰出し
二　壹斗　本明
壹斗　小紫
貳升　新保
三　貳斗　岩之下
四
三升　後前餅
壹斗貳升　墨餅
壹升　新保
壹升　二日蒔　墨餅

五　三斗
〆壹石三斗四升
嘉永七年
寅四月廿一日
土用明て十四日め蒔事

壹斗　小紫
一壹枚　五升　稻苅
八升　陣場
八升　撰出し
一貳枚　壹斗　岩之下
壹斗八升　新保
一三　貳斗　岩之下

貳升　佐左衛門

一四　壹斗貳升　墨餅

三升五合　後前餅

一五　貳斗九升　新保

〆壹石貳斗三升五合

安政二年

四月六日

土用明て十八日め蒔

壹斗　新保

一壹　九升　甚場

壹斗壹升　小紫

一貳　貳斗壹升五合　岩之下

一三　壹斗九升　岩之下

一四　壹斗三升五合　墨餅

三升五合　後前餅

一五　三斗三升　新保

一　壹斗八升　柳之下

〆壹石三斗八升五合

安政三年

辰四月十九日蒔

土用明て十九日めニ蒔

壹斗壹升　新保

五升　甚場

一　八升　丹波

壹斗　小紫

二　貳斗四升　岩之下

三　壹斗九升　岩之下

四　壹斗三升　墨餅

四升　後前餅

五　三斗　新保

一　壹斗九升　新保

柳ノ下

〆壹石四斗三升

安政四年

巳四月廿九日蒔

土用明て十八日めニ蒔

覺

二日蒔

壹斗貳升　白新保

壹　壹斗　小紫

壹斗八升　白新保

貳斗　岩ノ下

二　三升　こぼれ

三　壹斗八升　岩ノ下

四　壹斗三升　墨餅
四升　後(前)餅

五　三斗貳升　白新保

一　四升　柳ノ下
林場

〆壹石三斗四升
安政五年
午四月七日
土用明て十五日め蒔

覺

二日蒔
壹斗貳升　新保
一　壹斗　小紫
壹斗七升　新保

一　壹斗貳升　二日蒔
貳斗六升　白新保

壹斗貳升　岩ノ下
二　三升六合　白万七
三升五合　野澤

三　貳斗　岩ノ下

四　壹斗三升　墨餅
三升　後前餅

五　三斗　白新保

二　壹斗　岩ノ下
壹斗貳升　新保

三　貳斗　岩之下

四　壹斗三升　墨餅
三升　後餅

五　三斗　新保

七升五合　柳ノ下
六　貳升　新保
こぼれ

〆壹石三斗六升五合
安政六年
未四月十六日
土用明て十四日め蒔

柳ノ下
一　壹斗壹升　白新保
六升　龍山

〆壹石四斗壹合
安政七年四月一日
土用明て十七日め蒔

壹斗貳升　新保
六升　上原

一　三升　野澤
三升　ひばり
壹斗　龍山

二　貳斗五升　新保

三　壹斗九升　岩ノ下

四　壹斗三升五合　墨餅
　　三升　後前餅

五　三斗壹升　白新保
〃壹石貳斗五升五合
文久元年四月八日
土用明て十四日め蒔

壹斗貳升　二日蒔
　　新保
一　六升　上原
　　五升　ひばり
　　貳斗壹升　新保

二　貳斗六升　新保

三　壹斗九升　岩ノ下

四　壹斗三升　墨餅
　　三升　後前餅

五　三斗壹升　白新保
〃壹石三斗七升
文久二年
戌四月廿二日
土用(明)て十五日め蒔

五升　ひばり
一　六升　上原
三斗貳升　新保

二　貳斗七升　新保

三　壹斗九升　岩ノ下

四　壹斗三升　墨餅
　　三升　後前餅

五　三斗貳升　白新保
〃壹石三斗七升
文久三年
亥四月二日
土用明て十五日め蒔

壹斗貳升　新保

三升　ひはり
一　貳斗貳升　新保
六升　上原

二　貳斗七升　新保

三　壹斗九升　岩ノ下

四　壹斗三升　墨餅
　　貳升　分すへ餅
　　壹升　後前餅

五　三斗貳升　新保
〃壹石三斗七升
元治元年
子四月

（表紙）

明治十二年　芋川村

種子記帳

卯月吉祥日　星吉右衛門

記

一　壹斗　小千谷早（生）
　　壹斗八升　白新保

二　貳斗　白新保
　　四升　苗場

覺

一　壹斗三升　新保
　　七升　上原
　　貳斗五升　新保

二　貳斗九升　新保

三　壹斗九升　岩ノ下
（以下缺ク）

三　五升　白新保
　　壹斗貳升　上かた

　　貳升　後前餅
四　七升　墨餅
　　七升　飯山

五　三斗貳升　白新保
　　〆壹石壹斗九升（七）

明治（十）二年
卯閏三月廿六日
土用明十一日明ニ蒔

一　壹斗三升　小千谷早
　　壹斗五升　新保

二　壹斗五升　新保
　　五升　新保毛長

　　五升　新保
三　壹斗貳升　新保毛長
　　壹升　餅稻倉

　　七升　墨餅
四　七升　飯山餅
　　三升　後前餅

五　貳斗八升　新保毛なか
　　五升　新保同
　　〆壹石壹斗六升

明治十三年

辰四月五日
土用明九日枚(マヽ)ニ蒔

一　貳斗壹升　小千谷草(早)
　　七升　甚場

二　三斗　新保

三　壹斗壹升　墨(黒)新保
　　壹斗壹升　白新保

三　壹斗壹升　後前餅
四　七升　墨餅
　　七升　稻倉餅

五　三斗　白新保
〃壹石貳斗六(七)升
明治十四年
巳四月廿三日
土用明十五日めニ蒔申ハ事
日ハ寅也

一　貳斗　小千谷早
　　壹斗　伊加(賀)甚場

二　三斗　白新保

三　貳升　ほのき
　　壹斗壹升　上方種

二　三斗壹升　上形(方)種

三　貳斗　赤甚場
　　六升　甚場

四　七升　墨餅
　　七升　稻倉餅
　　三升五合　後前餅

五　三斗　白新保
〃壹石三斗貳升五合
土用明ゟ十四日ニ蒔
明治十六年
未舊四月十四日

一　貳斗壹升　小千谷早
　　七升　善光寺早

一　貳斗壹升　小千谷早
　　壹斗　善光(寺)早

二　三斗三升　上形種

三　六升　甚場
　　壹斗六升　赤甚場

三升　後前種
四　七升　稻倉種
　　七升　墨餅種

五　三斗三升　新保種

〆壹石三斗六升
　明治十七年
　(甲)甲四月廿壹日
　土用明十二日蒔

一　貳斗壹升　小千谷早
　　壹斗　善光寺

二　貳斗五升　上形種
　　五升　林場

三　壹斗七升　赤林場

　　七升　墨餅
四　七升　稻倉餅
　　三升　後前餅

五　三斗五升　白新保

〆壹石三斗
　明治十八年
　酉四月八日
　土用明拾八日め

一　貳斗壹升　小千谷早
　　七升　林場

　　三升　(オリタテ)折立餅
二　四升　上形
　　貳斗三升　赤林場

三　壹斗九升　上形
　　三升　後前餅

四　六升　墨餅
　　五升　稻倉餅
　　壹升　山口餅

五　三斗壹升　白新保

〆壹石四(二)斗三升
　明治十九年
　戊舊四月十三日
　土用明十一日め蒔

一　貳斗　小千谷早
　　七升　甚場

　　貳斗三升　赤甚場
二　貳升　山口餅

三升　上形

三　壹斗七升　上形

三升　後前餅

四　八升　稻倉餅

壹升五合　墨餅

五　三斗　白新保

〆壹石壹斗四升五合

明治廿年

亥舊四月廿五日

土用明十二日め蒔

壹　壹斗八升　小千谷早

貳　貳斗　赤甚場

七升　白甚場

參　壹斗七升　上形

貳升　山口餅

四　八升　後前餅

三升　稻倉餅

六升　墨餅

六升

五　貳斗八升　白新保

六升　能藤白

〆壹石壹斗三升

明治廿一年

子舊四月八日

土用明十三日蒔

一　壹斗八升　小千谷早

壹斗五升　赤甚場

二　八升　萬七

五升　白甚場

三　壹斗　上形

六升　赤早(生)

三升　後前餅

四　七升　稻倉餅

六升　墨餅

五　壹斗三升　白新保

貳斗　能藤白

〆壹石壹斗壹升

明治廿二年

丑舊四月十九日

土用明十四日蒔也

一　貳斗　小千谷早

壹升　白林場

二　壹斗五升　赤林場

壹斗壹升　赤早

三　壹斗五升　萬七

五升　白林場

三升　後前餅
四　七升　稻倉餅
六升　墨餅

五　壹斗　白新保
貳斗四升　能藤白
〆壹石(二)貳斗(七)三升
土用明八日
明治廿三年
丑三月廿四日　蒔申ゟ事

一　貳斗貳升　小千谷早
二　壹斗六升　赤林場

壹斗壹升　能藤白

壹斗貳升　萬七
三　ふゑかわ　貳升
六升　白林場

三升　後前餅
四　七升　稻倉餅
七升　墨餅

五　貳升(ヲ)三升　白新保
壹斗五升　能藤白
〆壹石貳斗四升
明治廿四年
卯四月八日
土用明十日目

記　稻種子

一　貳斗　小千谷早
二　壹斗七升　赤林場
九升　能藤白

壹斗　萬七
三　五升　白林場
貳升　上田(ウワタ)稻

七升　墨餅
四　五升　板(板)山餅
三升　後前餅

五　貳斗五升　白新保
壹斗　能藤白
〆壹石〇八(二ヲ三)升

明治廿五年
辰舊四月廿一日
土用明十三
一田うへ五月廿貳日納申ゟ事

記

一　壹斗九升　小千谷半(早)
二　貳斗六升　赤林場

六升　上田早
三　七升　萬七
參升　林場

六升　墨餅
四　六升　飯山

三升　後前餅

五　三斗壹升　白新保
〃壹石〇七升
明治廿六年
巳四月五日
土用明十五日

一　貳斗　小千谷早
七升　赤林場

二　貳斗六升　赤林場

三　八升　萬七
五升　白林場

四　參升五合　後前餅
六升　墨餅
六升　飯山

五　三斗壹升　白新保
〃壹石壹斗貳升五合
明治廿七年
甲午舊四月八日
土用明八日まき

一　壹斗九升　小千谷早

二　貳斗八升　赤林場

三　八升　萬七
三升　作藏見志

三升　後前餅
四　六升　墨餅
飯山　六升

五　三升(斗)壹升　白新保
計壹石〇四升
明治廿八年
乙(未)舊四月廿三日
土用明十貳日目まき

一　壹斗六升　小千谷早

二　貳斗六升　赤林場

三　七升　萬七
五升五合　天長(テンチヤウ)

三升五合　墨餅

四　五升　飯山
三升五合　後前餅

貳斗　白新保
五　五升　赤林場
五升　奥見志

〃九斗六升五合
廿九年
舊四月朔日
土用明九日ニまき

一　五升　上形
　　壹斗六升　小千谷早
二　貳斗壹升五合　天長
　　貳升　白新保
　　壹升三合　おゑ外餅
三　七升　萬七
　　三升　孫白種（マゴシロ）
　　壹升五合　白新保
四　七升　墨餅
　　三升五合　後前餅
五　貳斗七升　赤林場
　　七升五合　新保

計〆壹石貳升三合
明治三拾年酉舊四月十一日
土用明ゟ八日ニまき申ゟ也

一　貳斗　小千谷早種
　　八升　上形種
　　貳斗四升　天長
　　貳斗四升　赤林場
二　壹斗　上形
　　六升五合　萬七
　　四升　墨餅
三　四升五合　赤餅
　　壹升　岩山（イワヤマ）

五升七合　白林場
五升　小千谷早
四升　孫白
貳升參合　後前餅
計壹石壹斗九升
明治三拾一年
戌おろ（閏）三月廿一日
土用明七日蒔
同廿二日蒔
家之浦（裏）ニ苗代移シ

一　壹斗六升　小千谷
　　壹斗五升　上形
　　貳斗貳升　天長
　　壹升　七福種（シチフク）
二　五升　白林場
　　貳斗八升　赤林場
　　五升　小千谷
三　壹斗六五（マヽ）　嶋坊（シマボウ）
　　貳升五合　後前餅
　　五升　墨餅
　　四升　赤餅
〆壹石貳斗
明治三十貳年舊四月一日
土用明き四日め

一　壹斗八升　小千谷早
　　天長　貳斗
　　壹斗　嶋防す

二　貳斗七升　赤林場
　　五升　白林場

九升　墨餅
三升　後前餅
三　九升　七福種
三升五合　鳩防
〆壹石四升五合
明治三拾三年
子五月五日
土用内拾八日土用二日かり

一　壹斗貳升　小千谷早種
五升　善光寺

二　壹斗四升　赤林場
三　壹斗四升　同所（カ）

四　壹斗壹升五合　天長種
五　壹斗　同所

三升
六　三升五合　同所（ナガハマ）長濱

七　壹斗五合　鳩防す

五升
八　貳升　後前餅
貳升　赤林場

九　七升　墨餅種
壹升　後前餅
計〆壹石〇五合
土用明七日目
明治三拾四年
丑舊三月廿四日まき

一　壹斗五升　善光治（寺）
五升　小千谷早

貳　貳斗　天長

三　壹斗七升　赤林場

四　壹斗五升五合　同斷

五　三升　白林場
壹斗　鳩防須

六　壹斗一升　墨餅
三升　後前餅
〆九斗九升五合
土用七日目
明治三拾五年
寅舊四月五日まき

一　壹斗壹升　善光寺
參升　小千谷早

二　壹斗七升　赤林場

三　壹斗三升　同斷

四　壹斗貳升　天長

五　七升　嶋防須
　五升五合　能藤白
　―

六　壹升　飯山餅
　貳升　後前餅
　九升　墨餅

惣計八斗〇五合
三拾六年卯舊四月十日蒔
土用内明貳掛り

記

壹斗壹升　善光寺
壹　貳升　上原

五升　能登白
壹合　福島（フクシマ）　壹合　荒木
壹合　チネークー
〆壹斗八升三合

二　壹斗八升　赤林場

三　壹斗四升　同斷
　貳升　善光寺
　〆壹斗六升

四　壹斗三升　天長

五　壹斗五合　嶋防頭
　壹升　善光寺

六　壹斗　墨餅
　三升　飯山餅

計八斗九升八合
土用明五日ニ種まき
明治三拾七年舊三月廿四日

五升三合　岩下

壹
　五升　上原撰出
　七升　善光寺早生
　貳升三合　嶋坊
　壹升壹合　貳割増（ニワリマシ）

貳　壹斗九升　赤林場

壹斗五升　赤林場

參　壹合　白林場
　壹合　繁昌

四　壹斗貳升　天長

五升貳合　福嶋早生
五　五升　のと白
　三升壹合　荒木

六　八升壹合　墨餅
　三升壹合　吉野餅

惣〆九斗壹升四合
土用明壹日ニ種子蒔。
明治三拾八年舊四月三日
新五月七日

壹　五升五合　岩之下
　　壹斗　上原撰出シ
　　計壹斗五升五合

貳　壹斗七升五合　赤林場

三　壹斗四升　天長

三升　貳割增
貳升壹合　出(デシロ)白早生
壹升　上形
三升　天長
計九升壹合

四　七升　福嶋早生
五　貳升　白林場
　　貳升壹合　善光寺早生
　　計壹斗壹升壹合

七升　墨餅
六　四升七合　吉野餅
　　壹升壹合　長州
　　計壹斗貳升八合

壹合　撰一
壹合　保村早生
七　壹合　富國穗
壹合　三德早生
壹合　水穗司
計五合餘

少々　高宮
少々　雀不知
少々　福嶋撰出シ
貳拾壹品
惣計八斗〇五合
明治三拾九年舊四月拾四日
同年新五月七日種蒔

記

壹　壹斗　上原撰出シ
　　四升五合　岩之下

貳　壹斗三升貳合　天長

三　壹斗四升五合　赤林場

四　七升五合　福嶋
三升　貳割增
壹升　善光寺
壹升　岩之下
小〆壹斗貳升五合

三升　白林場
五　三升　天長
三升　赤林場

六　八升　墨餅
三升　吉野餅
惣計七斗四升七合
明治四拾年五月五日蒔き
舊三月廿三日

記

一　壹斗壹升　上原撰出シ
　　壹合　奥州早生

貳　壹斗壹升　天長

三　壹斗貳升　赤林場
　　貳升　白林場

四　三升五合　福嶋
　　六升五合　岩之下

貳升　白新保

五　貳升　早生萬七
　　五合　長坊

六升五合　早生赤林場

三升　白新保

六　三升　吉野餅
　　三升　墨餅

七　五升　墨餅

計七斗壹升壹合

明治四拾壹年五月六日
舊四月六日

記

拾參坪

壹　五升　早生赤林場
　　三升　大和早生

拾五坪七分四リ

貳　七升五合　天長
　　貳升七合　大和早生

拾五坪四分四リ

三　壹斗貳升　赤林場

十三坪八分八リ

四　貳升五合　早生萬七
　　五升　岩之下

拾三坪三分

四升　白林場

五　四升五合　長坊

十三坪七分五リ

壹升五合　墨餅

三升五合　佐野餅

六　壹升五合　天長
　　四升五合　上原撰出シ

七　四升七合　黒餅

惣計六斗壹升九合

明治四拾貳年
五月三日種子蒔き
舊三月拾四日

記

壹　五升　岩之下
　　三升五合　大和早生

貳　八升　天長

三　五升　大和早生
　　四升五合　天長

四　四升　上原撰出
　　四　貳升五合　白林場
　　八合　大和早生

五　五升　赤林場
　　五　貳升貳合　赤林場
　　貳升五合　長坊

六　八升　佐野餅
　　六　壹升三合　大和早生

七　三升　墨餅

壹升　佐野餅

惣計五斗六升三合
明治四拾參年五月拾壹日蒔き

記

壹　五升　岩之下
　　三升　上原撰出シ

貳　壹升　上原撰出シ
　　七升七合　天長

三　九升五合　大和早生

四　七升八合　赤林場
　　壹升九合　大和早生

四升　赤林場

五　三升　長坊
　　壹升五合　白林場
　　壹升壹合　上州

六　六升四合　佐野餅
　　六　貳升壹合　吉野餅

計五斗四升也

明治四拾四年五月三日
八拾八夜　舊四月五日種子蒔き

記

壹　五升　上原撰出
　　參升　岩之下

貳　九升　天長

五合　岩之下

參　壹斗　大和早生

四　七升八合　赤林場
　　壹升九合　岩之下

參升　虎藏
　　三升　上州早生

五　貳升　赤林場
　　壹升五合　白林場

四升三合　吉之(野)餅

六　參升　佐野餅
　　貳合　黒餅
　　壹升五合　大和早生

物計五斗五升七合
明治四十五年五月貳日
八十八夜蒔き

大正二年五月壹日二日の酉日蒔き

記

上より

壹。貳升五合　佐の餅
四升五合　吉の餅

貳。二升八合　岩之下
四升三合　虎三
九合　墨餅

三。九升　上原撰出

四。五升五合　見附（ツケ）
壹升　白林場
四升貳合　天長

五。壹斗五升七合　大和早生
四升七合　赤林場

六。九升四合　大和早生
五升　赤林場
合計六斗九升五合

大正三年五月四日蒔キ

記

上より

一、五升五合　飯山餅
壹升四合　佐の餅

二、三升七合　晩赤林場
五勺　万七　壹升四合　大和早生
六合　虎藏　四合　晩赤林場
二合　岩の下　五合　上原撰出
壹升壹合　佐の餅

三、四升四合三勺　上原撰出
壹升　見附
三升四合三勺　晩赤林場

四、四升六合八勺　早生赤林場
壹升六合八勺　岩之下
三升　鵜坊（坊）

五、六升七合四勺　大和早生
五升二合　大和早生

六、五升　大和早生
五升
五合　岩の下
合計五斗五升五合壹勺

記

大正四年五月六日蒔き

上ヨリ

一　壹升　飯山餅
二升五合　黒餅

三升　飯山餅
二　一升五合　同
五升二合　諸種
壹升　見附
三　三升八合　島坊
二升五合　晩赤林場
四　二升九合　晩林場
五升五合　大和早生
五　壹斗　大和早生
六　壹斗　上原撰出
惣計四斗八升九合(三)(五勺)

大正五年五月二日蒔キ
記
上ヨリ
一、飯山餅　五升
黒餅　三升
高宮　五合　大和早生　一升二合
二、飯山餅　一升
銀明(ギンメイ)　三升五合
見附　一升二合
早生赤林場　一升五合
三、二升五合　赤林場
二升七合　同
一升五合　小千谷早生　一升五合　冷水稲(レイスイトウ)

四、二升五合　見附
一升　岩の下
五升　大和早生
五、一斗〇五合　大和早生
六、一斗一升　上原撰出
一升四合　冷水稲
〆五斗六升五合

大正六年五月七日蒔キ
記
上ヨリ
一、此の一枚は本年は蒔ぬ事
二、二升七合　飯山餅　一升三合　飯山餅ホヌギ
三升一合　黒餅
三、一升　飯山餅　三升　冷水稲
四升　善光寺　七合　岩の下
四、四升五合　銀明
五升　見附
五、壹斗　小千谷早生
一升二合　同ホヌギ
三升五合　大和早生
六、四升　大和早生
四升　大和早生
〆四斗八升也

大正七年五月十一日蒔
つちのえ午

下ヨリ　記

三升九合五勺　大和早生
一　三升九合五勺　大和早生
二升三合　善光寺　一升七合　大和早生

三升八合　見附
二　三升八合　見附
二升三合　見附　一升七合　愛國（ママ）

四升五合　愛國
三　三升　小千谷早生　二升　冷水
四　四升　善光寺

二升　飯山餅　二升七合　善光寺

三升五合　飯山餅
五　三升五合　黒餅
〆四斗（八）九升七合

大正八年五月六日蒔キ
つちのとひづし

下ヨリ　記

一、大和早生　三升九合
同　同
見附　二升　小千谷早生　一升五合
二、小千谷早生　三升　見附　一升
見附　四升
冷水稻　三升

三、愛國　四升五合
善光寺　二升三合　愛國　三升

四、善光寺　四升
飯山餅　二升　善光寺　二升七合

五、飯山餅　五升
黒　餅　二升八合
〆四斗八升六合

大正九年五月五日蒔き
庚申　晴天

一、大和早生　四升
同　三升　冷水稻　二升
見附　四升

二、小千谷早生　四升
改良愛國　三升　見附　一升
改良愛國　四升

三、愛國　四升五合
小千谷早生　二升三合　愛國　三升

四、善光寺早生　四升貳合
飯山餅　二升　善光寺　二升五合
ホヌギ

五、飯山餅　四升
同　五合　黒餅　三升
〆五斗壹升
蒔き下したり

大正拾辛酉歳五月五日蒔
晴天
上原撰出　四升七合
一、同　同　五升
見附　二升　愛國二升　上原撰出　一升
見附　四升
二、愛國　三升　上形　一升
上形　四升
三、大和早生　四升五合
同　二升五合　冷水稻一升五合
ホヌギ五合

四、改良愛國　四升
飯山餅　二升　善光寺　一升　早生愛國　九合
五、飯山餅　三升五合　同ホヌギ　四合
同　八合　黒餅　二升七合
合計五斗壹升

大正十一年自リ又元之倉之浦(裏)ニ苗代ヲ復舊ス
五月三日蒔キ下ヨリ坪表
一、拾三坪　二、貳拾九坪
三、貳拾四坪　四、貳拾四坪
〆九拾坪

種子
計四斗七升
一、三升五合　愛國
三升五合　同
二、赤林五升　万五升　見三升　改良二升
場升　倍五合　附升　愛國五合
二升　早生愛國　大和早生　一升六合
三、四升　同
四升四合　同
四、二升　上原撰出　二升　飯山餅
四升　飯山餅
五合　飯山餅　三升五合　黒餅

大正十二年五月九日蒔キ
下ヨリ
一、六升　愛國
二、愛國　四升　万四升　見三升　改良四升
國升　倍升　附升　愛國升
三、早生愛國　壹斗壹升
四、二升　飯山モチ　早生愛國壹升　〆張(シメハリモチ)餅壹升
飯山餅　四升
黒餅　三升五合
〆四斗三升五合

大正十三年五月五日蒔

一、在來愛國　六升

二、在愛　七升
　改良愛國　四升
　見付　三升

三、早生愛國　壹斗

四、〃張　五升五合
　黒餅　三升五合
　〃三斗九升

此の年は縣下一體に苗不足を來たし非常に困難に候
自分ハ御蔭樣にて澤山に候

大正十四年五月五日蒔

本年ハ家政大改革ニ付き作付反別非常少し

一、在來愛國　五升
　改良愛國　三升
　早生愛國　三升

二、〃張餅　三升五合
　黒餅　二升
　〃壹斗六升五合

大正十五年五月十三日蒔

　改良愛國　四升七合
一、坊子(主)愛國　貳升五合
　珍光(チンコウ)　壹升

百〇四號愛國　五合
二、改良愛國　壹升
　早生愛國　壹升
　〃張餅　三升五合
　黒餅　貳升
　〃壹斗七升貳合(ママ)

昭和貳年五月十三日蒔キ

一、四升五合　改良愛國
　四升八合　坊子愛國

二、貳升　高宮
　八合　改良愛國
　參升參合　〃張餅
　參升　黒餅

五合　御前餅見出
〃壹斗八升九合

昭和參年五月三日蒔

一、四升五合五勺　改良愛國
　園地共同苗代（三反七畝用）

……

　貳升　高宮
二、三升　福島愛國
　一升　龜の尾

　二合　〃張餅　一升八合　御前餅
　二升　黒餅　六合五勺　ホヌギ

三、壹升壹合五勺　改良愛國
〃壹斗壹升八合

昭和四年種蒔キ五月十二日
土用明キ六日目

一、採種甫用　　貳升
　壹升四合　　改良愛國
苗不足ノ年デ有リマシタ

二、壹升貳合　改良愛國
　壹升貳合　高宮
二、壹升壹合　御前餅
　壹升壹合　御前餅
　壹升五合　黒餅
〃九升五合
作付反別五反五畝歩

昭和五年庚午種蒔キ
新四月二十日蒔キ
一、貳升三合三勺　石川四號
　三升貳合　改良愛國
二、貳升三合　改良愛國
　貳升一合　〃張モチ
　貳升　黒モチ
柳ノ下三角田　苗代特設　一升貳合　原種數種及改良愛國
〃壹斗三升一合三勺

昭和六年五月八日
一、六升五合（下）　銀坊中生
二、二升五合　改良愛國
　二升　七十號（愛國）

二升　〃張
　二升　黒餅
〃壹斗五升
外ニ柳の下三角田ヘ
新金光　壹升蒔キ

昭和七年四月卅日蒔キ
一、貳升壹合（下ヨリ）　新イ號
　參升五合　中生銀坊
　壹升三合　七十號愛國
　壹升　昭和錦
二、壹升八合　中生銀坊
　貳升貳合　七十號
　貳升三合　〃張モチ
　壹升貳合　黒モチ
〃壹斗五升四合
外ニ三角田貳升　新金光

昭和八年癸酉四月三十日蒔
一、七十號　五升九合
　農林壹號　三升三合
二、新石白　壹升
　銀坊主中生　三升四合
　〃張糯　貳升三合
　闕取　四合　黒餅　一升一合
合計壹斗七升四合
苗ハ二ケタモアマリタリ

昭和九年甲戌歳
五月十七日蒔キ土用明キ十一日目

一、改良愛國　貳升三合
農林一號　壹升二合
新石白　貳升四合
愛國龜ノ尾　三升貳合
本年モ二ケタ程アマリタリ

二、銀坊主中生　貳升
七十號　貳升二合
關取　壹升貳合
〃張糯　壹升三合
黒モチ　壹升七合
〃壹斗七升五合

昭和十年度四月廿九日蒔キ
新石白　一升
一、銀坊主中生　貳升貳合

陸羽貳十號　一升貳合
陸羽百三十貳號　四升

二、〃張モチ　貳升　農林一號　七合
關取　貳升
黒モチ　一升　陸羽貳十號　貳升
〃壹斗六升一合

昭和十一年五月十二十三日蒔キ
下
一　關取　壹升
同　壹升貳合
改良愛國　一升貳合
同　一升三合
一三二號　一升七合
同　一升八合

クロモチ五合
二　同　七合
〃張モチ　一升六合
〃壹斗五升（四升九合）

農林一號　三合
銀坊中生　八合
同　九合
同　九合
一三二號　一升

昭和十二年五月五日蒔キ
一、五升　百三十二號
一、貳升五合　銀坊主中生
一、貳升　改良愛國
一、三升　關取
一、貳升五合　關取
一、壹升　黒餅
一、貳升　〃張餅
合計壹斗八升

二　大福稲刈帳

（表　紙）

文化三年　芋川村

大福稲苅帳

九月吉日　星吉右衛門

一　七拾七束五わ　古屋敷（フルヤシキ）
一　八拾三束五わ　中坪（ナカツボ）
一　八束壹わ　三枚田（サンマイダ）

〔星吉右衛門〕

一　三拾三束四わ　朴木田（ホノキダ）
一　三拾四束五わ　前田（マイダ）
一　貳拾五束六わ　大工の上（ダイクノカミ）
一　九束四わ　柳下（ヤナギノシタ）
一　拾壹束三わ　宮の浦（ミヤノウラ）
一　七拾束四わ　清水田（シミヅダ）
一　貳拾八束四わ　古じやうど（フルヤシキ）
一　五拾六束三わ　そり澤田（ソリサワダ）
　文化三年とら年九月
惣〆四百三拾九束四わ

一　六拾八束　古屋敷
一　四束七わ　三枚田
一　貳拾八束四わ　朴木田
一　七拾壹束四わ　中坪
一　三拾貳束壹わ　前田
一　貳拾三束　大工ノ上
一　七束五わ　柳の田（下）
一　五拾束　そり澤田
一　貳拾五束二わ　ふるじやうど
一　拾束壹わ　鎭守ノ浦（宮ノ浦）
一　七拾束三わ　清水田
一　七束　かつきは
　う十月廿六日
惣〆三百九拾三束三わ（八）

辰九月十日

一　七拾三束五わ　古屋敷
一　五束六わ　三枚田
一　七拾七束七わ　中坪
一　三拾四束貳わ　朴木田
一　貳拾四束五わ　大工の上
　貳束貳わ
一　三拾五束七わ　前田
一　九束　柳木の下
一　七拾束四わ　清水田
一　貳拾六束　古じやうど
一　拾壹束四わ　宮ノ浦
一　五拾束貳わ　そり澤田
一　六束　小瀧口
　辰の九月十二日
惣〆四百貳拾七束四わ

文化五年(六)巳ノ九月吉日

一 八拾三束七わ　古屋敷
一 八束壹わ　三枚田
一 八拾壹束　中　坪
一 七拾九束三わ　清水田
一 五拾五束六わ　そり澤田
一 三拾六束六わ　朴木田
一 貳拾七束壹わ　大工の上
一 三拾五束　前田
一 九束　柳の下
一 貳拾七束壹わ　古じやうど
一 拾貳束　宮ノ浦
一 拾七束　小瀧口
惣〆四百八拾貳束壹わ

午九月廿九日

一 七拾六束七わ　古屋敷
一 七束貳わ　三枚田
一 八拾四束四わ　中坪
一 三拾貳束四わ　朴木田
一 三拾四束七わ　前田
一 貳拾七束貳わ　大工上
一 八束七わ　柳の下
一 拾束六わ　鎭守浦
一 貳拾九束　古じやうど
一 五拾五束貳わ　そり澤田
一 七拾六束七わ　清水田
一 拾三束六わ　小瀧口
惣〆四百五拾七束六わ

未ノ九月廿九日

一 七拾束　古屋敷
一 六束貳わ　三枚田
一 三拾四束七わ　朴木田
一 三拾貳束三わ　前田
一 七拾壹束　中坪
一 廿八束五わ　大工ノ上
一 拾壹束　柳の下
一 拾束壹わ　宮の浦
一 七拾貳束貳わ　清水田
一 五拾四束四わ　そり澤田
一 貳拾五束貳わ　古じやうど
一 拾八束七わ　小瀧口
惣〆四百三拾四束(二)わ

甲(申)ノ九月廿三日

一 八拾六束四わ　古屋敷
一 九拾壹束壹わ　中坪
一 八束六わ　三枚田
一 三拾五束　朴木田
一 三拾八束　前田
一 貳拾八束三わ　大工上
一 拾束二わ　柳下
一 拾三束五わ　宮ノ浦
一 八拾七束壹わ　清水田
一 三拾壹束五わ　古じやうど
一 五拾六束壹わ　其り澤田
一 貳束五わ　壹枚田
一 貳拾壹束二わ　小瀧口
〆五百拾束三わ

酉ノ十月廿日

一　五拾五束五わ　古屋敷
一　七束弐わ　三枚田
一　六拾七束六わ　中坪
一　四拾七束　ふの木田
一　三拾束　前田
一　弐拾弐束二わ　大工上
一　八束五わ　柳の下
一　拾束壹わ　宮の浦
一　弐拾川束　古じやうど
一　七拾壹束四わ　清水田
一　四拾壹束　そり澤田
一　拾六束四わ　小瀧口
惣〆三百九拾三束三わ　外ニ七束弐わ

いぬ年九月廿日

一　八拾束　古屋敷
一　八拾束　中坪
一　三拾五束弐わ　朴木田
一　弐拾九束三わ　大工上
一　三拾六束三わ　前田
一　八束五わ　三枚田
一　廿八束七わ　古じやうど
一　五拾五束五わ　そり澤田
一　八拾六束弐わ　清水田
一　拾三束　宮ノ浦
一　拾壹束　柳木下
一　拾七束六わ　小瀧口
惣〆四百八拾壹束七わ

亥十月五日

一　八拾四束壹わ　古屋敷

一　九拾束三わ　中坪
一　三十四束六わ　朴木田
一　八束　三枚田
一　三拾八束壹わ　前田
一　廿七束壹わ　大工上
一　拾束　柳木下
一　拾弐束壹わ　宮の浦
一　九束壹わ　野ち田
一　弐拾八束　古じやうど
一　八拾三束四わ　清水田
一　五拾三束壹わ　そり澤田
一　拾九束弐わ　小瀧口
〆四百九拾七束五わ

ねの十一月廿二日

一　七拾四束七わ　古屋敷
一　七束四わ　三枚田
一　三拾壹束一わ　朴木田
一　拾束六わ　二枚田
一　七拾七束六わ　中坪
一　九束四わ　柳木下
一　弐拾五束四わ　大工上
一　三拾三束七わ　前田
一　拾束壹わ　宮の浦
一　弐拾六束七わ　古じやうど
一　七拾七束三わ　清水田
一　五拾壹束五わ　そり澤田
一　拾五束二わ　小瀧口
〆四百六拾四束四わ

丑の十二月十六日

一　八束　三枚田

一　六拾貳束六わ　前田（大工ノ上）
一　七拾六束　古屋敷
一　八拾六束五わ　中坪
一　九束貳わ　宮ノ浦
一　六拾七束三わ　清水田
一　三拾五束四わ　家の浦
一　拾束七わ　ひどろ
一　九束七わ　柳木の下
一　廿四束五わ　古十あうど
一　五拾貳束五わ　（ソリ）逆澤口
一　拾束七わ　やち田
一　拾五束五わ　小瀧口
惣〆四百七拾束壹わ

とらの九月廿三日

一　八束壹わ　三枚田

一　八拾束七わ　古屋敷
一　八拾六束七わ　中坪
一　三拾四束七わ　前田
一　三拾七束壹わ　（イノマイ）家の前
一　拾七束　貳十五束刈
一　貳拾八束一わ　大工の上
一　三拾八束五わ　朴木田
一　拾壹束七わ　ひどろ
一　拾束五わ　柳木の下
一　九束五わ　やち田
一　拾貳束五わ　宮の浦
一　貳拾八束七わ　古じやうと
一　五拾四束六わ　そて澤田
一　八拾四束七わ　（清水）水清田
一　拾八束貳わ　小瀧口
惣〆五百六拾三束壹わ

（卯）字九月九日

一　六束七わ　三枚田
一　七拾八束六わ　古屋敷
一　七拾七束壹わ　中坪
一　三拾五束貳わ　前田
一　貳拾九束六わ　大工の上
一　三拾七束五わ　朴木田
一　拾壹束貳わ　ひどろ
一　拾束四わ　柳木の下
一　拾束一わ　やち田
一　拾壹束五わ　宮の浦
一　貳拾七束四わ　古じあふどう
一　五拾壹束五わ　そて澤田
一　七拾四束七わ　清水田
一　拾九束壹わ　小瀧口
惣〆四百八拾貳束

辰ノ十月吉日

一　六束六わ　三枚田
一　七拾六束四わ　古屋敷
一　八拾束六わ　中坪
一　四拾九束　朴木田
一　三拾五束二わ　前田
一　九束七わ　柳木下
一　廿九束壹わ　大工ノ上
一　拾束　宮の浦
一　廿七束　古じやうど
一　七拾七束壹わ　清水田
一　五拾三束貳わ　そて澤田
一　九束五わ　やち田
一　拾六束七わ　小瀧口
〆四百八拾六（一）束壹わ

巳ノ九月廿九日

一	八束三わ	三枚田
一	八拾五束	古屋敷
一	八拾九束六わ	中坪
一	四拾九束四わ	朴木田
一	三拾三束六わ	前田
一	弐拾八束六わ	大工ノ上
一	拾束五わ	柳木の下
一	拾束三わ	宮の浦
一	九拾三束	(清水)水清田
一	三拾束四わ	古じやうど
一	五拾三束五わ	そで澤田
一	九束弐わ	やち田
一	廿束壹わ	小瀧口
一	拾五束五わ	(イマシンデン)今新田

物〆五百三拾八束四(三)わ

(午)馬九月九日

一	七拾八束五わ	古屋敷
一	八束弐わ	三枚田
一	四拾八束弐わ	朴木田
一	八拾弐束	中坪
一	三拾八束三わ	前田
一	弐拾八束五わ	大工ノ上
一	拾束弐わ	柳木ノ下
一	拾弐束五わ	宮ノ浦
一	拾束五わ	やち田
一	八拾五束一わ	(窪)水清水田
一	廿七束四わ	古じやうど
一	五拾四束二わ	そて澤田
一	拾五束六わ	小瀧口

一	拾七束四わ	今新田

物〆五百拾七束六わ

(未)示九月十日

一	八拾三束一わ	古屋敷
一	九束三わ	三枚田
一	四拾八束	朴木田
一	八拾八束六わ	中坪
一	三拾五束四わ	前田
一	廿九束七わ	大工ノ上
一	拾壹束二わ	柳木の下
一	拾三束七わ	宮の浦
一	拾束	やち田
一	七拾五束五わ	清水田
一	廿七束四わ	古じやうと
一	五拾五束五わ	そて澤田
一	拾五束五わ	小瀧口
一	拾八束三わ	今新田

〆五百廿弐束四わ

申九月九日

一	八拾弐束	古屋敷
一	八束五わ	三枚田
一	四拾六束六わ	朴木田
一	八拾束七わ	中坪
一	三拾五束四わ	前田
一	弐拾六束	大工の上
一	九束	柳木の下
一	八束五わ	やち田
一	拾壹束弐わ	宮の浦
一	弐拾八束弐わ	古じやうど
一	五拾弐束六わ	そで澤田

一　八拾壹束七わ　清水田
一　八束五わ　小瀧口
一　拾六束三わ　上新田
〆四百九拾六束五わ

(戌)犬の年八月日

一　八拾貳束　古やしき
一　拾束三わ　三枚田
一　八拾貳束四わ　中坪
一　四拾六束三わ　朴木田
一　三拾四束五わ　前田
一　貳拾五束六わ　大工上
一　拾束三わ　柳木ノ下
一　拾束壹束一わ　宮ノ浦
一　九束六わ　やち田
一　貳拾七束三わ　ふるじやうど

一　八拾壹束七わ　清水田
一　四拾九束七わ　そて澤田
一　拾束貳わ　小瀧口
一　拾八束三わ　上新田
〆四百九拾束三わ　外ニ拾束貳わ

(亥)いの年

一　九束三わ　三枚田
一　八拾三束壹わ　古屋敷
一　八拾八束六わ　中坪
一　三拾五束　前田
一　廿九束七わ　大工ノ上
一　拾壹束二わ　柳木の下
一　拾束　やち田
一　拾三束七わ　宮の浦

一　四拾七束八わ　朴木田
一　拾五束二わ　上新田
一　八拾束五わ　清水田
一　廿八束　古じやうど
一　四拾七束二わ　そて澤田
一　拾五束一わ　小瀧口
〆五百拾五束四わ

八月廿二日

一　拾束　三枚田
一　七拾二束六わ　古屋敷
一　拾束五わ　宮の浦
一　七拾五束六わ　中坪
一　八束四わ　やち田
一　八束四わ　柳木の下

一　廿七束六わ　大工の上
一　三拾五束三わ　前田
一　三拾四束四わ　朴木田
一　拾五束四わ　上新田
一　廿五束六わ　古じやうと
一　七拾九束五わ　清水田
一　四拾貳束五わ　そり澤田
一　拾八束三わ　小瀧口
〆四百六拾五束五わ

八月

一　拾束三わ　三枚田
一　七拾貳束五わ　古屋敷
一　拾貳束一わ　宮の浦
一　八拾貳束三わ　中坪
一　八束六わ　やち田

一 九束五わ　柳木ノ下
一 三拾四束六わ　前田
一 廿六束四わ　大工ノ上
一 三拾六束一わ　朴木田
一 拾六束四わ　上新田
一 廿八束六わ　古じやうど
一 七拾六束五わ　清水田
一 五拾壹束　そて澤田
一 拾七束一わ　小瀧口
（廿）牛九月三日
〆四百八拾三束貳わ

寅年
しおてに寒く□おや時ハ
同　二□中すかよハ
おんか□立

寅年御參宮立
此年七月かうおんか立

一 八束貳わ　三枚田
一 三拾束　ほの木田
一 六拾貳束六わ　古屋敷
一 七拾貳束　中坪
一 貳拾八束三わ　前田
一 貳拾貳束壹わ　大工ノ上
一 六拾三束四わ　清水田
一 四拾四束四わ　そで澤田
一 貳拾三束四わ　古しやうど
一 拾壹束貳わ　宮の浦
一 九束四わ　やち田
一 八束五わ　柳木下
一 拾五束　上新田
一 拾六束一わ　小瀧口
〆四百拾五束六わ

天保二年卯九月吉日

覺

一 稻八束六わ　三前（枚）田
一 同六拾七束六わ　古屋敷
一 同七拾六束六わ　中坪
一 同三拾二束貳わ　朴木田
一 同三拾五束四わ　前田
一 同貳拾六束七わ　大工の上
一 同七拾九束七わ　清水田
一 同五拾壹束三わ　そて澤田
一 同貳拾八束七わ　古じやうど
一 同拾五束七わ　澤小和
一 同拾三束七わ　上新田
一 同拾貳束貳わ　宮の浦
一 同八束五わ　柳木之下
一 同九束貳わ　やち田
一 同拾壹束五わ　木伐（きりサワ）澤
一 同拾五束七わ　小瀧口
惣〆四百九拾五束三わ

覺

辰十月八日

一 九束　三枚田
一 六拾五束五わ　古屋敷
一 七拾五束六わ　中坪
一 三拾三束六わ　前田
一 貳拾八束　古上ど
一 三拾壹束四わ　上新田
一 拾束五わ　宮の浦
一 貳拾四束四わ　大工之上
一 三拾三束三わ　朴木田

一 七拾束五わ　清水田
一 四拾七束五わ　船澤田（輪）
一 拾三束五わ　木伐澤
一 拾六束六わ　小瀧口
一 八束三わ　屋ち田
一 八束六わ　柳木下
〆四百八拾五束四わ（七十七）（七）

巳ノ年
〆四百貳はかり

午九月十六日
一 拾七束七わ　三枚田
一 七拾九束三わ　古屋敷
一 八拾六束五わ　中坪

一 三拾五束三わ　前田
一 廿六束五わ　大工ノ上
一 九束五わ　柳木之下
一 四十束六わ　五十刈（ゴジユガリ）
一 百拾壹束一わ　津々美（ツミ）
一 拾四束五わ　宮ノ浦
一 八束五わ　やち田
一 廿九束七わ　朴木田
一 廿八束四わ　古じやうど
一 七拾九束七わ　清水田
一 五拾三束　そて澤田
一 拾六束四わ　上新田
一 拾七束六わ　小瀧口
一 拾三束五わ　木切澤
〆六百六拾九束六わ
午の九月十六日かり上

一 九束四わ　三枚田
一 七拾三束七わ　古屋敷
一 八拾三束六わ　中坪
一 拾貳束二わ　宮ノ浦
一 七束五わ　やち田
一 廿八束貳わ　うけば
一 三拾四束二わ　前田
一 五拾貳束七わ　朴木田
一 四拾四束壹わ　柳木下
一 八束五わ　同
一 貳拾三束三わ　大工ノ上
一 拾貳束五わ　上新田
一 百九束一わ　福田（フクダ）
一 貳拾八束　四十刈（うつの）
一 七拾三束一わ　清水田
一 四拾五束　そで澤田

一 廿四束二わ　古しやうど
一 八束貳わ　小瀧口
一 六束貳わ　木くり澤（き）
酉天保八年此年稻わけ半分
惣〆六百八拾六束三わ
第申年の違作ニ付御藏入三分貳百
酉六月米之ね段本
金壹兩壹分あまり
小豆壹升百九拾文
大豆壹兩あまり

覺
一 稻九束壹わ　三枚田
一 同三拾九束三わ　朴ノ木田
一 同拾七束五わ　同松原田（勘兵衛田）
一 同貳拾八束六わ　內之朴木田

一 同八拾四束一わ　中坪
一 同四拾束五わ　柳木ノ下
一 同八束六わ　同拾束刈也
一 同弐拾五束五わ　大工の上
一 同三拾壹束三わ　前田
一 同百壹束　津よみ　宇津野　澤口田
一 同拾九束三わ
一 同六拾束六わ　清次郎田
一 同三拾三束壹わ　上新田
一 同弐拾六束五わ　古十王土
一 同弐拾五束六わ　近花（キンクワ）
一 同四拾弐束七わ　船澤田（稲）
一 同三束　壹枚田
一 同七拾弐束弐わ　清水新田
一 同七拾弐束三わ　古屋敷
一 同拾弐束　宮の浦

一 同八束　屋ち田
一 同弐拾九束壹わ　桶場（オケバ）
一 同五束五わ　木伐澤口
一 同六束弐わ　小瀧口
〆八百弐束（二）弐わ（両）
天保九年戌九月十七日

稲苅覺

一 同七拾五束　古屋敷
一 同拾束三わ　三枚田
一 同五拾三束七わ　朴の田
一 同八拾四束弐わ　中坪
一 同三拾四束壹わ　前田
一 同三拾五束　内ノ朴田
一 同弐拾四束　大工ノ上

一 同百四束四わ　柳ノ下
一 同百弐束六わ　福田
一 同七拾四束六わ　宇津（ウツ）の
一 同弐拾七束壹わ　古十王土
一 同五拾壹束弐わ　船澤田
一 同拾弐束三わ　宮ノ浦
一 同七束七わ　やちだ
一 同弐拾七束五わ　桶場
一 同七拾四束　新田
一 同弐拾四束四わ　近花
一 同五束三わ　木伐澤
一 同七束弐わ　小瀧口
一 三拾三束七わ　上新田

惣〆八百七拾（六十束七ヒ）稲苅取申ゟ
天保亥年八月十六日の六ツ時ニ相成ゟ
節大あれ來ル夕立たつまきニて雪ふり
來ル冬の玉一ツで三十八匁目又は四十
めのど（ほ）御座ゟ其時小出組中家村池之平
七日市井ノ口佐梨小新田うきニいたみ
苅稲十わ壹束ニ而米弐升御座ゟふり雪
軒之下ニは三尺程もたまり御座ゟ
右之通りニ御座ゟ早ゝ以上
亥九月十七日

覺

一 稲九束壹わ　三枚田
一 同五拾三束　本明田朴
一 同三拾弐束　朴木田
一 同六拾六束三わ　古屋敷
一 同拾束六わ　同浦かた
一 同七束六わ　屋ち田

一　同貳拾貳束四わ　桶場
一　同八拾壹束五わ　中坪
一　同九拾三束七わ　柳の下
一　同貳拾貳束二わ　大工上
一　同貳拾九束四わ　前田
一　同百六束七わ　堤福田
一　同七拾八束五わ　宇津野
一　同三拾束七わ　上新田
一　同貳拾貳束二わ　古じやうど
一　同貳拾七束六わ　近花
一　同四拾束三わ　船澤田
一　同六拾九束　清水新田
一　同五束五わ　木伐澤

惣〆八百拾束壹わ
天保十一年
子九月廿九日ニ刈揚

一　稲九束貳わ　三枚田
一　同四拾九束四わ　朴木田
一　同三拾束五わ　同朴木（本明）
一　同八拾三束貳わ　中坪
一　同九拾七束四わ　柳の下
一　同六拾壹束六わ　古屋敷
一　同拾束壹わ　宮之浦
一　同八束四わ　屋ち田
一　同貳拾壹束壹わ　桶場
一　同四拾貳束五わ　わなて
一　同貳拾壹束七わ　大工之上
一　同三拾束　前田
一　同百貳束　堤福田

一、同八拾束七わ　宇津野田
一、同三拾三束六わ　上新田
一、同貳拾四束貳わ　古じやうど
一、同貳拾五束六わ　近花
一、同四拾五束壹わ　船澤田
一、同六拾八束　清水田
一、同四束三わ　木伐田（畑）

惣〆八百五拾束貳わ
天保十二年
丑九月十二日刈揚

八月廿二日

一　稲九束七わ　三枚田
一　四拾壹束五わ　朴田
一　三拾貳束貳わ　朴田下
一　三拾貳束三わ　前田
一　六拾六束六わ　古屋敷
一　八拾三束三わ　仲坪
一　百貳束　柳木下
一　貳拾四束七わ　大工上
一　百拾貳束壹わ　堤福田
一　三拾貳束三わ　宇津野
一　三拾四束七わ　上新田
一　貳拾五束五わ　古じう土
一　四拾七束壹わ　そて澤田
一　七拾三束　清水新田
一　貳拾六束七わ　近花
一　拾貳束三わ　宮の浦
一　七束六わ　谷地田
一　貳拾六束二わ　桶場
一　三拾九束壹わ　わな手

一　八束貳わ　　木伐澤
〆八百三拾八束七わ
天保十三年
寅九月十六日苅揚

覺

一　九束貳わ　　三枚田
一　三拾束壹わ　　朴木田
一　五拾貳束三わ　　同本明田
一　六拾五束五わ　　古屋敷
一　拾貳束六わ　　宮之浦
一　七束壹わ　　谷地田
一　貳拾七束二わ　　桶場
一　四拾壹束三わ　　和なて
一　八拾壹束　　中坪
一　九拾三束六わ　　柳木下

一　拾七束五わ　　前田
一　貳拾三束壹わ　　大工上
一　九拾九束壹わ　　堤之禰田
一　三拾貳束　　宇津野
一　三拾五束貳わ　　上新田
一　貳拾五束四わ　　古じやう土
一　四拾三束三わ　　外で澤田
一　貳拾七束貳わ　　近花
一　六拾八束二わ　　清水田
一　六束六わ　　木伐澤
惣〆七百九拾八束七わ
天保十四年
卯九月廿八日苅揚

覺

一　稻拾束貳わ　　三枚田
一　同五拾束六わ　　朴本明
一　同三拾束貳わ　　朴田
一　同六拾六束　　古屋敷
一　同拾三束五わ　　宮之浦
一　同七束三わ　　谷地田
一　同貳拾五束貳わ　　桶場
一　同四拾貳束六わ　　和なて
一　同八拾束　　中坪
一　同九拾六束六わ　　柳木下
一　同三拾壹束　　宇津野
一　同三拾壹束五わ　　上新田
一　同貳拾七束　　古ぢう土
一　同三拾貳束　　近花
一　同四拾七束四わ　　そで澤田
一　同七拾貳束五わ　　清水田
惣〆六百六拾四束六わ
弘化
天保十五年
辰九月十七日苅揚

覺

一　稻九束五わ　　三枚田
一　同五拾貳束貳わ　　朴田
一　同三拾束貳わ　　朴田本明
一　同六拾九束七わ　　古屋敷
一　同拾三束四わ　　宮之浦
一　同九束六わ　　谷地田
一　同貳拾七束　　桶場
一　同四拾束四わ　　和なて
一　同八拾三束　　中坪
一　同百束六わ　　柳之木
一　同三拾五束六わ　　宇津野

一 同三拾三束　上新田
一 同貳拾七束七わ　古じうふど
一 同三拾束三わ　近花
一 同四拾七束　そで澤田
一 同七拾五束　清水田
惣〆六百八拾五束四わ
弘化二年
巳九月廿九日苅揚

覺

一 稻拾束　三枚田
一 同五拾七束貳わ　朴木田
一 同三拾貳束五わ　同上ノ切
一 同七拾三束壹わ　古屋敷
一 同拾貳束　宮之浦
一 同拾貳束　谷地田

一 同貳拾五束七わ　桶場
一 同三拾六束七わ　わなて
一 拾四束三わ　關下（セキシタ）
一 同四拾七束三わ　腰瀧澤（コシタキサワ）
一 同百五束　柳ノ下
一 同八拾五束五わ　中坪
一 同三拾貳束七わ　上新田
一 同貳拾八束五わ　古じ王土
一 同貳拾五束四わ　近花
一 同四拾六束二わ　そて澤田
一 同七拾六束五わ　清水田
惣〆七百拾七束三わ
弘化三年
午八月廿九日苅揚

稻苅覺

一 稻拾束貳わ　三枚田
一 同四拾六束　岩之下
一 同三拾三束五わ　朴田
一 同六拾四束四わ　古屋敷
一 同拾束六わ　宮之浦
一 同七束四わ　谷地田
一 同貳拾壹束　桶場
一 同三拾五束壹わ　和名て口
一 同拾束六わ　せき下
一 同三拾六束六わ　腰瀧澤
一 同七拾五束壹わ　中坪
一 同八拾九束壹わ　柳下
一 同三拾束四わ　上新田
一 同四拾貳束七わ　そて澤田
一 同貳拾三束壹わ　近花
一 同六拾五束五わ　清水田
惣〆六百貳束五わ
弘化四年
未九月十三日
稻苅場仕ゐ（終）以上

覺

一 稻拾束四わ　三枚田
一 同四拾五束　朴田下
一 同四拾壹束六わ　朴田上
一 同七拾七束貳わ　古屋敷
一 同拾三束七わ　宮之浦
一 同七束貳わ　谷地田
一 同貳拾八束貳わ　桶場
一 同三拾八束　和なて口

一　拾四束　　せき下
一　同四拾八束　　腰瀧澤
一　同九拾貳束　　中坪
一　同百六束五わ　　柳ノ下
一　同三拾四束　　上新田
一　同五拾三束四わ　　そて澤田
一　同貳拾七束六わ　　近花
一　同七拾四束貳わ　　清水田
惣〆七百拾貳束苅
嘉永元年
申九月十五日
苅揚仕ル

稻苅覺

一　稻八束六わ　　三枚田
一　同五拾束四わ　　朴田　下切

一　同三拾束三わ　　朴田　上切リ
一　同八拾三束貳わ　　中坪
一　同九拾五束五わ　　柳ノ下
一　同六拾七束七わ　　古屋敷
一　同拾貳束壹わ　　宮之浦
一　同八束七わ　　谷地田
一　同貳拾六束五わ　　桶場
一　同拾束七わ　　關下
一　同三拾七束壹わ　　腰瀧澤
一　同三拾束三わ　　上新田
一　同四拾四束六わ　　そて澤田
一　同貳拾五束壹わ　　近花
一　同七拾貳束七わ　　清水田
惣〆六百五束壹わ
嘉永二年
酉八月廿八日苅揚

戌
八月廿二日始

一　稻九束五わ　　三枚田
一　同三拾六束壹わ　　上切朴木田
一　同五拾三束三わ　　下同所
一　同七拾三束三わ　　古屋敷
一　同拾壹束貳わ　　宮之浦
一　同八束三わ　　谷地田
一　同八拾壹束壹わ　　中坪
一　同三拾八束三わ　　和名てロ
一　同九束七わ　　關下
一　同貳拾九束　　腰瀧澤
一　同百束四わ　　柳ノ下
一　同百六束　　津よみ
一　同三拾五束七わ　　上新田
一　同四拾六束　　そで澤田

一　同拾九束貳わ　　近花
一　同七拾八束壹わ　　清水田
惣〆七百三拾六束貳わ
嘉永三年戌九月十一日苅揚

稻刈覺

八月廿九日始

一　稻拾束五わ　　三枚田
一　同四拾五束　　朴田下
一　同四拾六束七わ　　同上切
一　同六拾八束三わ　　古屋敷
一　同拾束五わ　　宮之浦
一　同八束六わ　　谷地田
一　同三拾七束貳わ　　わなて
一　同拾三束　　關下
一　同四拾貳束七わ　　腰瀧澤

一　同八拾四束五わ　中坪
一　同九拾束壹わ　柳ノ下
一　同百九束　堤福田
一　同四拾八束　そて澤田
一　同貳拾三束五わ　近花
一　同七拾四束四わ　清水田
一　同三拾三束　上新田
〆七百四拾六束貳わ　苅揚
嘉永四年　亥九月廿二日

覺

一　稻八束三わ　三枚田
一　同四拾壹束四わ　朴ノ田下
一　同三拾七束六わ　同上切
一　同六拾壹束五わ　古屋敷

一　同貳拾四束壹わ　中山（ナカヤマ）
一　同九束五わ　宮之浦
一　同七束五わ　谷地田
一　同三拾四束七わ　和なて
一　同拾束壹わ　關下
一　同三拾八束五わ　腰瀧澤
一　同八拾束　中坪
一　同九拾六束壹わ　柳ノ下
一　同三拾壹束壹わ　上新田
一　同九拾八束貳わ　堤福田
一　同四拾三束六わ　そて澤田
一　同貳拾六束貳わ　近花
一　同六拾八束三わ　清水田
〆七百拾八束壹わ
嘉永五年　子九月九日苅揚

稻苅覺

八月廿三日始

一　拾束壹わ　三枚田
一　九拾貳束四わ　朴木田
一　七拾六束壹わ　古屋敷
一　拾貳束七わ　宮之浦
一　八束貳わ　谷地田
一　貳拾九束壹わ　中山
一　四拾束五わ　和なて口
一　九拾貳束壹わ　中坪
一　三拾壹束三わ　上新田
一　百四束七わ　柳之下
一　拾三束壹わ　關下
一　四拾七束四わ　そで澤田
一　貳拾八束五わ　近花
一　八拾五束　清水田
一　百八束貳わ　同所（下切り）
〆七百八拾束四わ
嘉永六年　丑九月十一日苅揚

稻苅覺

一　稻九束七わ　三枚田（下切）
一　同五拾八束三わ　朴田（上切）
一　同三拾四束六わ　同所
一　同貳拾四束貳わ　中山
一　同六拾四束五わ　古屋敷
一　同拾壹束六わ　宮之浦
一　同七束五わ　谷地田
一　同九拾四束　柳ノ下
一　同七拾七束四わ　中坪

一　同三拾三束三わ　上新田
一　同三拾七束五わ　和なて口
一　同四拾七束貳わ　そて澤田
一　同貳拾貳束七わ　近花
一　同拾貳束七わ　關下
一　同六拾七束七わ　清水田
一　同九拾壹束貳わ　同所下切（カミハカノマイ）
一　同三束四わ　上墓前
一　同貳束貳わ　橋場（ハシバ）
〆七百壹束五わ
安政二年
卯九月七日苅揚

覺

八月廿八日

一　稻拾束四わ　三枚田
一　同五拾壹束四わ　朴田
一　同三拾三束貳わ　同所下切
一　同六拾六束五わ　古屋敷上切
一　同貳拾五束壹わ　中山
一　同拾壹束五わ　宮之浦
一　同六束六わ　谷地田
一　同七束貳わ　關下
一　同四拾束三わ　和なて口
一　同三拾八束四わ　腰瀧澤
一　同八拾五束　中坪
一　同三拾四束貳わ　上新田
一　同拾三束　橋場
一　同八束六わ　墓之前
一　同四拾三束五わ　そて澤田
一　同貳拾壹束六わ　近花
一　同九拾七束四わ　柳之下

一　同九拾壹束五わ　清水田
一　同七拾五束四わ　同所上切（下切）
〆七百六拾貳束四わ
安政三年
辰十月

稻苅覺

八月六日ゟ始

一　同九束　三枚田
一　同三拾五束六わ　朴田
一　同四拾束七わ　同所（下切り）
一　同六拾七束三わ　古屋敷（上切り）
一　同貳拾貳束三わ　中山
一　同拾壹束三わ　宮之浦
一　同七束貳わ　谷地田
一　同三拾四束四わ　わなて口
一　同三拾五束　腰瀧澤
一　同七拾六束貳わ　中坪
一　同八拾四束貳わ　柳ノ下
一　同拾三束四わ　橋場
一　同九束五わ　原墓ノ前
一　同貳拾九束七わ　上新田
一　同四束六わ　殿畑（トノバタケ）
一　同四拾五束七わ　そて澤田
一　同貳拾貳束二わ　近花
一　同八拾七束四わ　清水田（下切り）
一　同七拾四束四わ　同所（上切り）
〆七百拾壹束七わ
安政四年
巳九月二日苅揚

覺

一 稲八束貳わ　三枚田
一 同四拾束四わ　上切 朴木田
一 同四拾三束壹わ　同所
一 同六拾七束四わ　下切 古屋敷
一 同拾貳束四わ　宮ノ浦
一 同九束　谷地田
一 同貳拾五束貳わ　中山
一 同三拾四束五わ　腰瀧澤
一 同八拾貳束三わ　中坪
一 同貳拾七束三わ　上新田
一 同拾三束　橋場
一 同六束六わ　墓之前
一 同拾束貳わ　殿畑
一 同九拾六束壹わ　柳ノ下
一 同貳拾四束貳わ　近花
一 同七拾四束七わ　清水田 上切り

物〆六百七拾束貳わ
安政五年
午九月十日苅揚

稲苅覺

一 稲九束七わ　三枚田
一 同三拾九束三わ　上切り 朴木田
一 同四拾貳束六わ　同所
一 同八拾三束三わ　下切 中坪
一 同七拾三束壹わ　古屋敷
一 同拾壹束四わ　宮ノ浦
一 同七束七わ　谷地田
一 同四拾束貳わ　わなて口
一 同三拾八束六わ　腰瀧澤
一 同九拾六束三わ　柳ノ下
一 同拾九束貳わ　橋場

一 同拾六束三わ　古橋場（フルハシバ）
一 同拾束七わ　墓前
一 同三拾貳束五わ　上新田
一 同拾束三わ　殿畑
一 同貳拾三束七わ　近花
一 同七拾五束四わ　清水田 上切り
一 同九拾六束五わ　同所 下ノ切

物〆七百貳拾八束六わ
安政六年
未九月廿五日苅揚

覺

一 稲九束四わ　三枚田
一 同三拾束六わ　下切 朴田
一 同四拾八束　上切り 同所
一 同六拾壹束五わ　古屋敷
一 同拾壹束　宮ノ浦
一 同七束三わ　谷地田
一 同三拾四束五わ　わなて口
一 同三拾四束三わ　腰瀧澤
一 同七拾九束六わ　中坪
一 同九拾壹束三わ　柳ノ下
一 同拾八束六わ　橋場
一 同拾四束壹わ　古橋場
一 同九束五わ　墓前
一 同三拾壹束三わ　上新田
一 同九束三わ　殿畑
一 同四拾束壹わ　そで澤田
一 同百五拾壹束二わ　清水田

物〆六百八拾三束
万延元年
申九月七日苅揚

覺

八月十六日

一 稻九束六わ　三枚田
一 同三拾壹束七わ　朴田 上切り
一 同貳拾束壹わ　同所 下切 古屋敷
一 同六拾六束貳わ　柳下
一 同百拾壹束貳わ　中坪
一 同八拾九束五わ　宮ノ浦
一 同拾三束三わ　谷地田
一 同七束六わ　和なて口
一 同三拾八束貳わ　橋場
一 同貳拾貳束三わ　古橋場
一 同拾五束貳わ　墓前
一 同拾貳束五わ　上新田
一 同三拾七束貳わ　殿畑
一 同九束三わ

一 同貳拾五束三わ　近花
一 同四拾七束三わ　そて澤田
一 同七拾三束　上切 清水田
一 同八拾九束六わ　同所 下切
〆七百貳拾束五わ

文久元年酉九月六日苅揚

文久二年九月三日苅上

一 稻九束苅　三枚田
一 同貳拾七束三わ　朴木田 上切
一 同拾八束四わ　同所 下切 古屋敷
一 同六拾束壹わ　宮ノ浦
一 同拾壹束五わ　谷地田
一 同六束六わ　和なて口
一 同三拾七束　中坪
一 同七拾五束壹わ

一 同九拾束七わ　柳ノ下
一 同三拾貳束　上新田
一 同拾六束七わ　墓前
一 同拾束　殿畑
一 同貳拾壹束五わ　橋場
一 同拾三束貳わ　古橋場
一 同四拾六束五わ　そて澤田
一 同貳拾三束壹わ　近花 上切
一 同六拾八束七わ　清水田
一 同七拾八束壹わ　同所 下切り

惣〆六百四拾六束七わ

覺

一 稻九束四わ　三枚田
一 同貳拾壹束　朴木田 下切り

一 同三拾壹束七わ　同所 上切り
一 同六拾貳束　古屋敷
一 同拾貳束四わ　宮ノ浦
一 同八束　谷地田
一 同三拾九束四わ　わなて
一 同八拾八束貳わ　中坪
一 同百四束　柳ノ下
一 同貳拾貳束五わ　橋場
一 同拾七束壹わ　古橋場
一 同貳拾束四わ　墓前
一 同三拾三束七わ　上新田
一 同拾束七わ　殿畑
一 同貳拾三束　近花
一 同四拾八束六わ　そて澤田 下切り
一 同九拾七束三わ　清水田
一 同七拾九束四わ　同所 上切り

惣〆七百三拾束(二わ)刈也
文久三年、亥九月八日刈揚

元治元年

覺

一 稻八束貳わ刈　三枚田
一 同七拾八束六わ　仲坪
一 同三拾束壹わ　朴田
一 同拾八束三わ　同所上切
一 同四拾四束七わ　そ手澤田
一 同九拾四束　柳ノ下
一 同拾壹束六わ　宮之浦
一 同八束貳わ　谷地田
一 同三拾六束　和なて
一 同貳拾九束三わ　上新田
一 同五拾九束五わ　古屋敷
一 同貳拾壹束貳わ　近花
一 同拾三束　古橋場
一 同拾九束五わ　橋場
一 同拾三束七わ　墓之前
一 同八束六わ　殿之畑
一 同六拾七束三わ　上清水田
一 同八拾五束六わ　同所下切

惣〆六百四拾九束
元治元年
子九月十八日刈

稻刈覺

一 同八束五わ　三枚田
一 同三拾束五わ　上新田
一 同八拾貳束貳わ　仲坪

一 同貳拾三束七わ　近花
一 同四拾三束六わ　そ手澤田
一 同六拾束三わ　古屋敷
一 同七拾三束七わ　上切清水田
一 同九拾束五わ　清水田
一 同拾貳束四わ　宮之浦
一 同七束四わ　谷地田
一 同貳拾九束七わ　上切朴木田
一 同拾八束壹わ　朴木田
一 同三拾五束六わ　和なて
一 同九拾壹束貳わ　柳ノ下
一 同三拾貳束　大藤ち
一 同拾五束壹わ　古橋揚(場)
一 同貳拾三束五わ　橋揚
一 同拾七束貳わ　墓前
一 同九束壹わ　藤(殿カ)之畑

惣〆七百七束七わ(六)(一)
慶應元年
丑八月吉日刈揚仕ル

覺

寅の八月二十二日

一 稻八束壹わ　三枚田
一 同拾五束三わ　朴木田
一 同三拾三束　上新田
一 同七拾九束四わ　中坪
一 同六拾五束七わ　上切清水田
一 同八拾壹束六わ　下切清水田
一 同貳拾九束四わ　朴木田
一 同五拾八束三わ　古屋敷
一 同貳拾三束　近花
一 同四拾六束三わ　そ手澤田

一　同八拾九束六わ　柳ノ下
一　同三拾三束三わ　和な手口
一　同拾壹束六わ　宮ノ浦
一　同七束五わ　谷内(ママ)田
一　同七束六わ　中山
一　同貳拾束四わ　橋場
一　同拾四束貳わ　古橋場
一　同九束壹わ　殿畑
一　同拾五束貳わ　墓ノ前

物〆六百五拾束貳わ
慶應二年寅九月

一　稻九束貳わ　三枚田
一　同貳拾九束四わ　上朴木田
一　同拾五束貳わ　下同所

一　同五拾七束六わ　古屋敷
一　同拾三束壹わ　宮之浦
一　同七束四わ　谷地田
一　同三拾五束壹わ　和長手
一　同八拾三束壹わ　中坪
一　同八拾七束五わ　柳ノ下
一　同貳拾壹束六わ　橋場
一　同拾六束四わ　古橋場
一　同拾六束六わ　墓之前
一　同三拾六束貳わ　上新田
一　同拾束貳わ　殿之畑
一　同八束四わ　中山
一　同貳拾貳束七わ　近花
一　同四拾九束壹わ　そ手澤田
一　同七拾四束七わ　上清水田
一　同八拾七束七わ　下清水田

物〆六百八拾三束苅
慶應三年卯九月　日

稻刈覺

八月十四日ゟ

一　同八束五わ　三枚田
一　同三拾五束四わ　上新田
一　同六拾五束四わ　古屋敷
一　同拾壹束四わ　宮浦
一　同八束　谷地田
一　同四束七わ　二枚田
一　同三拾壹束壹わ　朴木田
一　同貳拾束九わ　同所
一　同七束五わ　殿之畑
一　同九束　中山

一　同四拾九束　そ手澤田
一　同拾八束四わ　橋場
一　同拾四束五わ　古橋場
一　同拾四束　墓之前
一　同貳拾三束六わ　近花
一　同八拾壹束五わ　下清水田
一　同百七わ(束カ)　清水田
一　同八拾四束　中坪
一　同九拾七束　柳ノ下
一　同三拾六束五わ　和長手

物〆七百三拾束六わ
慶應四年辰九月十日苅上

稻苅覺

一　同八束七わ　三枚田

一 同貳拾八束三わ　上新田
一 同五束　谷地田
一 同貳拾貳束三わ　近花
一 同拾貳束　宮之浦
一 同拾束貳わ　殿之畑
一 同四拾八束　そ手澤田
一 同八束四わ　中山
一 同拾五束三わ　墓之前
一 同拾五束　古橋場（上）
一 三拾四束　朴木田
一 拾八束壹わ　同所
一 五拾八束壹わ　古屋敷（下切リ）
一 七拾九束四わ　中坪
一 三拾八束　和名手
一 九拾六束二わ　柳ノ下
一 拾九束三わ　橋場

一 四束壹わ　庄右衛門
一 七拾五束三わ　古橋場（下田）
一 九拾五束三わ　清水田（上切リ）
一 〆六百九拾貳束刈也　同所（下切リ）
明治二年
巳九月十七日刈揚

稲刈覺

一 稲刈八束七わ　三枚田
一 三拾壹束貳わ　上新田
一 八束六わ　谷地田
一 九束六わ　殿之畑
一 拾壹束七わ　宮之浦
一 貳拾壹束五わ　近花
一 拾七束五わ　墓前（上切）
一 七拾五束貳わ　清水田

一 百六束六わ　同所
一 九束六わ　中山（下切）
一 拾六束貳わ　朴木田
一 貳拾壹束壹わ　橋場
一 拾六束　古橋場
一 拾束壹わ　〃橋場
一 四拾八束六わ　そ手澤田
一 三拾三束五わ　朴木田（上）
一 拾三束七わ　岩鼻（イワハナ）
一 七拾九束五わ　中坪
一 九拾三束五わ　柳ノ下
一 五拾五束四わ　古屋敷
一 四拾束三わ　和長手
〆七百三拾束四わ刈
明治三年
午九月廿六日刈

稲刈覺

一 貳拾九束　上新田
一 八束壹わ　三枚田
一 拾三束壹わ　古橋場（下切）
一 九束三わ　同所
一 八束壹わ　中山
一 貳拾束七わ　橋場
一 拾束貳わ　藤（藤）之畑
一 拾五束五わ　墓ノ前
一 七拾八束　中坪
一 三拾四束五わ　和長手
一 百六拾六束七わ　清水田
一 四拾五束四わ　そで澤田
一 貳拾貳束　近花
一 四拾三束六わ　柳ノ下

一 貳拾九束四わ　上 朴木田
一 拾八束　下切 同所
一 六拾壹束七わ　古屋敷
一 拾三束七わ　宮浦
一 七束五わ　谷地田
一 貳拾四束　稲の前
一 拾三束四わ　岩鼻
惣〆六百七拾三束五わ
明治四年
未九月吉日
七日苅

稲苅覺

一 同拾束三わ　三枚田
一 同三拾貳束壹わ　上新田
一 同八拾五束三わ　仲坪

一 同三拾束四わ　上 朴木田
一 同拾六束七わ　同所
一 同四拾壹束六わ　柳木下
一 同四拾九束三わ　そ手澤田
一 同三拾七束四わ　和長手
一 同拾五束　岩鼻
一 同八束四わ　中山
一 同拾三束五わ　宮ノ浦
一 同八束四わ　谷地田
一 同五拾七束四わ　古屋敷
一 同拾九束貳わ　墓ノ前
一 同百六拾六束一わ　清水田
一 同貳拾五束四わ　稲ノ下
一 同貳拾壹束三わ　橋場
一 同拾六束　下 古橋場
一 同拾貳束貳わ　同所

一 同拾貳束七わ　(藤)藤ノ畑
一 同貳拾五束五わ　近花
惣〆七百六束苅也
明治五年
申九月十七日苅揚
米五升なれ

稲苅覺
越後國魚沼郡
芋川村
星　吉右衛門

稲苅覺

一 八束四わ　三枚田
一 拾貳束壹わ　藤ノ畑
一 拾七束　古橋場
一 四拾八束三わ　そ手澤田

一 拾貳束五わ　宮ノ浦
一 拾四束壹わ　岩鼻
一 貳拾貳束貳わ　稲ノ下
一 拾九束壹わ　橋場
一 拾六束五わ　墓ノ前
一 貳拾貳束七わ　近花
一 八束　谷地田
一 八束貳わ　中山
一 四拾六束七わ　柳之下
一 三拾六束四わ　和長手
一 百六拾七束貳わ　清水田
一 拾壹束七わ　古橋場 下切り
一 五拾九束三わ　古屋敷
一 四拾五束三わ　朴木田
一 八拾三束六わ　中坪
一 三拾壹束六わ　上新田

惣〆六百九拾貳束五わ
明治六年苅場(稱)事

稻苅覺

一 同拾貳束六わ　三枚田
一 〃貳拾九束六わ　上新田
一 〃八拾束七わ　仲坪
一 〃貳拾四束壹わ　朴木田
一 〃貳拾貳束四わ　近花
一 〃百六拾九束　清水田
一 〃五拾九束三わ　古屋敷
一 〃拾三束三わ　宮ノ浦
一 〃九束七わ　藤之畑
一 〃拾七束　墓之前
一 〃拾五束五わ　古橋場(下切ヲ)同所
一 〃拾壹束貳わ

一 〃拾五束五わ　朴木田
一 〃三拾五束五わ　和長手
一 〃八束六わ　谷地田
一 〃四拾五束貳わ　柳之下
一 〃八束也　中山
一 〃四拾五束三わ　そ手澤田
一 〃貳拾壹束六わ　稻苅下
一 〃拾八束貳わ　新橋場(シンハシバ)
一 〃拾三束五わ　岩鼻

惣〆六百七拾八束六わ
明治七年
戌九月八日ニ苅納申ゟ

越後國
魚沼郡
湯之谷
芋川村
星　吉右衛門

稻苅覺

一 〃九束　三枚田
一 〃三拾束四わ　上新田
一 〃六拾束貳わ　古屋敷
一 〃四拾壹束三わ　朴木田
一 〃七拾八束五わ　伸(仲)ノ坪
一 〃四拾束七わ　袖澤田
一 〃三拾六束四わ　和長手
一 〃四拾四束四わ　柳ノ下
一 〃拾九束四わ　近花
一 〃八束五わ　谷地田
一 〃拾三束三わ　宮ノ浦
一 〃八束五わ　仲山
一 〃拾四束五わ　岩鼻
一 〃拾四束三わ　墓ノ前

一 〃拾束　藤ノ畑
一 〃拾五束壹わ　古橋場(下切)同所
一 〃拾束
一 〃拾八束四わ　橋場
一 〃貳拾壹束　稻ノ下
一 〃百七拾貳束六わ　清水田

惣〆六百六拾八束壹わ
亥九月廿三日苅申ゟ

明治八年
越後國
魚沼郡
芋川村
星　吉右衛門

稻苅記

一 拾貳束貳わ　三枚田
一 三拾三束五わ　上新田

一 九拾五束五わ　仲坪
一 貳拾三束三わ　近花
一 百八拾束貳わ　清水田
一 九束壹わ　仲山
一 五拾束七わ　柳ノ下
一 九束　谷地田
一 拾六束三わ　宮浦
一 四拾貳束壹わ　和長手
一 六拾三束三わ　古屋敷
一 貳拾八束三わ　朴木田
一 拾五束四わ　同所
一 拾九束七わ　墓ノ前
一 拾壹束四わ　藤ノ畑
一 拾七束五わ　古橋場
一 貳拾五束壹わ　稲刈下
一 〃 九束四わ　藤ノ畑

一 拾貳束六わ　古橋場下
一 貳拾束壹わ　岩鼻
一 四拾八束六わ　袖手澤田
一 貳拾貳束三わ　橋場
惣〆七百五拾八束。
明治九年子八月廿九日刈場(揃)

稲記

一 〃 拾貳束　三枚田
一 〃 三拾貳束五わ　上新田
一 〃 四拾五束六わ　袖手澤田
一 〃 貳拾貳束四わ　近花
一 〃 拾三束五わ　宮浦
一 〃 四拾七束五わ　柳ノ下
一 〃 五拾六束五わ　古屋敷

一 〃 七束五わ　谷地田
一 〃 三拾七束五わ　和長手
一 〃 拾五束七わ　岩鼻
一 〃 八拾貳束壹わ　中坪
一 〃 貳拾七束壹わ　朴木田
一 〃 拾六束　同所
一 〃 百八拾束壹わ　清水田
一 〃 拾八束七わ　墓前
一 〃 貳拾貳束　稲刈下
一 〃 貳拾壹束六わ　稲刈前
一 〃 拾五束四わ　古橋場下
一 〃 拾壹束七わ　同所
一 〃 七束三わ　中山
惣〆七百四束壹わ
明治十年丑九月拾二日刈場

覺

一 百七拾貳束　清水田
一 稲三拾貳束三わ　上新田
一 拾八束　墓ノ前
一 三拾七束　和なて。
一 拾三束七わ　宮ノ浦
一 七束　中山
一 五拾八束五わ　古屋敷
一 八拾貳束貳わ　中坪
一 四拾八束　柳下
一 貳拾九束　朴木田
一 七束壹わ　やち田
一 九束貳わ　殿畑
一 拾六束　古橋場下
一 拾壹束　同所

一 四拾五束七わ　袖澤田
一 貳拾三束一わ　近花
一 貳拾束　稻苅下
一 拾六束　岩鼻
一 拾壹束七わ　三枚田
惣〆八百九束七わ（六百五十八束三わ）
明治十拾壹年（酉）
丙寅九月吉日

稻記

一 三拾貳束五わ　上新田
一 貳拾束貳わ　墓ノ前
一 四拾束貳わ　和長手
一 拾壹束六わ　宮之浦
一 九束四わ　中山

一 五拾九束六わ　古屋敷
一 九拾貳束七わ　中坪
一 四拾八束四わ　柳ノ下
一 貳拾五束五わ　朴木田
一 八束六わ　谷地田
一 貳拾束六わ　橋場
一 拾束七わ　藤ノ畑
一 拾六束五わ　古橋場（下切同所）
一 拾貳束　
一 四拾九束壹わ　袖手澤田
一 貳拾三束四わ　近花
一 貳拾三束六わ　稻苅下
一 百八拾貳束五わ　清水田
一 拾八束貳わ　岩鼻
一 六束六わ　三枚田
〆七百拾四束壹わ（六百七十四）

明治十二年
卯九月六日苅取

稻記

一 七束五わ　三枚田
一 拾七束六わ　上新田
一 拾九束壹わ　墓ノ前
一 貳拾束貳わ　稻ノ前
一 貳拾四束三わ　稻ノ下
一 拾六束四わ　古橋場（下切同所）
一 拾壹束壹わ　和長手
一 四拾貳束六わ　袖手澤田
一 四拾八束七わ　藤ノ畑
一 九束貳わ　柳ノ下
一 四拾八束　宮ノ浦
一 拾五束貳わ　古尾敷
一 六拾三束壹わ　近花
一 貳拾四束三わ　朴木田
一 貳拾七束貳わ　岩鼻
一 拾八束　中山
一 九束四わ　腰瀧澤
一 四拾貳束貳わ　谷地田
一 八束壹わ　仲坪
一 八拾六束貳わ　清水田
一 百八拾貳束七わ
惣〆七百四拾貳束五わ
明治十三年　十三日苅あげ
辰九月吉祥日

稻記

一 〃六束五わ　三枚田
一 〃拾三束五わ　上新田

一 〃拾四束壹わ　墓ノ前
一 〃八束也　藤ノ畑
一 〃拾壹束七わ　古橋場（下切）
一 〃九束五わ　同所
一 〃七束壹わ　谷地田
一 〃七束壹わ　中山
一 〃四拾七束五わ　古屋敷
一 〃拾貳束貳わ　宮ノ浦
一 〃四拾貳束貳わ　袖手澤田
一 〃拾九束　近花
一 〃拾六束三わ　岩鼻
一 〃七拾六束六わ　仲坪
一 〃四拾四束五わ　柳ノ下
一 〃貳拾九束五わ　和長手
一 〃百五拾貳束三わ　清水田
一 〃三拾壹束　腰瀧

一 〃貳拾三束貳わ　朴木田
〆五百七拾三束貳わ
明治十四年
巳八月晦苅申ゟ以上

覺

一 稻七束壹わ　三枚田
一 同貳拾五束五わ　朴木田
一 同六拾束也　古屋敷
一 同拾貳束六わ　宮ノ浦
一 同八束　谷地田
一 同八束七わ　中山
一 同三拾九束三わ　和長手口
一 同四拾壹束　腰田澤
一 同九拾束四わ　中坪
一 同四拾九束三わ　柳ノ下

一 同拾貳束壹わ　古橋場（貳ケ所苅分）
一 同拾八束四わ　墓前（上段）
一 同拾六束五わ　上新田
一 同七束貳わ　殿畑ヶ
一 同貳拾束貳わ　近花
一 同五拾壹束七わ　袖澤田
一 同百七拾壹束七わ　清水新田
一 同拾九束四わ　岩鼻

〆六百六拾束五わ
明治十五年午九月五日苅揚

覺

一 稻五束七わ　三枚田
一 同貳拾九束六わ　朴木田
一 同五拾九束四わ　古屋敷
一 同拾四束六わ　宮之浦

一 同八束貳わ　谷地田
一 同八束四わ　中山
一 同三拾七束三わ　和長手
一 同四拾五束六わ　腰瀧澤
一 同九拾束壹わ　中坪
一 同五拾壹束壹わ　柳之下
一 同貳拾束七わ　古橋場（ハラウワダ）
一 同貳拾貳束七わ　原上段
一 同拾八束七わ　上新田
一 同九束六わ　殿畑ヶ
一 同五拾六束七わ　袖手澤田
一 同貳拾七束五わ　近花
一 同百七拾四束七わ　清水田
一 同貳拾束貳わ　岩鼻

〆七百三束
明治十六年未九月廿二日苅揚

稻覺

一 稻貳拾九束貳わ　三枚田共ニ朴木田
一 同六拾三束三わ　古屋敷
一 同拾五束貳わ　宮ノ浦
一 同八束六わ　谷地田
一 同八束壹わ　中山
一 同四拾五束三わ　和長手
一 同四拾五束五わ　腰瀧澤
一 同九拾壹束四わ　中坪
一 同四拾八束貳わ　柳ノ下
一 同拾四束七わ　古橋場
一 同拾八束四わ　墓ノ前・
一 同拾七束三わ　上新田
一 同八束六わ　殿畑
一 同四拾八束貳わ　柚澤田
一 同百七拾四束　清水田
一 同百五拾四わ　岩鼻
〆六百五拾貳束六わ
明治十七年　申舊九月二日刈揚

覺

一 稻貳拾三束六わ　朴木田
一 同拾五束五わ　上新田
一 拾八束五わ　墓ノ前 上段
一 同八束五わ　殿畑
一 拾三束貳わ　古橋場
一 同四拾七束六わ　柳ノ下
一 同七拾九束六わ　中坪
一 同四拾束七わ　和名て口
一 四拾壹束七わ　腰田澤
一 同八束四わ　谷内田
一 同八束貳わ　中山
一 同拾貳束四わ　宮ノ浦
一 同五拾六束三わ　古屋敷
一 同四拾五束五わ　柚澤田
一 同百六拾束七わ　清水田
一 同拾五束　岩鼻
惣計稻五百九拾七束貳わ
明治十八年乙酉
舊九月十五日刈揚

稻記

一 〃拾九束六わ　上新田
一 〃拾九束貳わ　墓ノ前
一 〃拾五束七わ　橋場
一 〃八束七わ　藤之畑
一 〃四拾三束五わ　腰瀧澤
一 〃六拾三束　古屋敷
一 〃五拾貳束五わ　柚手澤田
一 〃百八拾六束　清水田
一 〃拾四束貳わ　宮之浦
一 〃四拾八束　和長手
一 〃八拾九束六わ　仲　坪
一 〃五拾七束壹わ　柳ノ下
一 〃八束三わ　谷地田
一 〃七束三わ　中山
一 〃貳拾七束四わ　朴木田
一 〃五拾貳束貳わ　壹里塚（イチリヅカ）
惣〆七百拾三束五わ
明治十九年
戌舊九月十六日刈あけ

稲記

一〃貳拾三束五わ　朴木田
一〃拾五束貳わ　上新田
一〃九束四わ　藤ノ畑
一〃三拾八束　腰瀧澤
一〃拾八束三わ　墓ノ前
一〃拾六束六わ　古橋場
一〃八拾三束壹わ　仲坪
一〃四拾九束壹わ　柳ノ下
一〃四拾壹束七わ　和長手
一〃百七拾三束壹わ　清水田
一〃五拾九束　古屋敷
一〃拾五束壹わ　宮ノ浦
一〃八束五わ　中山
一〃八束三わ　谷地田
一〃五拾束七わ　壹り塚

一〃貳拾六束　朴木田
一〃四拾三束四わ　壹り塚
一〃四拾貳束壹わ　和長手
物〆五百九拾四束五わ（六）

明治貳拾壹年
子舊九月廿壹日苅納事

一稲拾六束四わ　上新田
一同貳拾束三わ　墓前（高ミ）
一同拾五束　古橋場
一同七束五わ　殿畑
一同四拾壹束六わ　一里塚
一同百七拾壹束七わ　清水田
一同五拾七束六わ　古屋敷
一同八束五わ　谷地田

一稲八束三わ　藤ノ畑
一稲拾六束壹わ　上新田
一〃拾七束七わ　墓ノ前
一〃拾六束壹わ　古橋場
一〃三拾六束　腰瀧澤
一〃七拾九束六わ　仲坪
一〃五拾七束六わ　柳ノ下
一〃五拾八束壹わ　古屋敷
一〃百七拾六束六わ　清水田
八束五わ　谷地田
一〃七束五わ　仲山

〆六百拾束壹わ

明治廿年
亥九月二日

一同七束七わ　中山
一同四拾貳束壹わ　腰瀧澤
一同四拾貳束七わ　和長手
一同八拾五束貳わ　中坪
一同四拾八束六わ　柳ノ下
一同貳拾貳束七わ　朴木田

〆五百八拾九束貳わ

明治廿貳年
丑舊九月廿四日苅拂

繪覺

一拾九束三わ　墓前
一二拾三束　高見
一拾八束壹わ　古橋場
一拾束　殿畑
一七束五わ　谷地田

一　八束四わ　　中山
一　四拾三束四わ　　腰瀧澤
一　四拾四束三わ　　和長手
一　百九拾六束七わ　　清水田
一　五拾束　　壹里塚
一　九拾六束五わ　　仲坪
一　五拾六束　　柳ノ下
一　六拾三束五わ　　古屋敷
一　三拾壹束二わ　　朴の木田
合計六百六拾九(ハ)束七わ
維時明治二拾三年寅舊八月十三日刈
初刈終九月朔干終同月十三日目出度
納候同年正月時分ニ斬(積カ)雪積高サ三尺
計り十五日の御禮ニ下駄ヲはき廿日
頃道ハ消離廿三日ニ當リテ大風吹人
家人大(マヽ)ニ痛ミ廿九日ニ不殘消離野山

共消ゆ同年五月當米四斗四升四圓六
拾錢成ゆ處（以下記事ナシ）

稻記

一　同拾九束四わ　　墓前
一　〃拾七束壹わ　　古橋場
一　〃貳拾壹束貳わ　　墓前上
一　〃七束三わ　　藤ノ畑
一　〃四拾壹束四わ　　腰瀧澤
一　〃五拾四束貳わ　　柳ノ下
一　〃四拾四束四わ　　和長手
一　〃八拾八束三わ　　仲坪
一　〃貳拾八束七わ　　朴之木田
一　〃百九拾壹束三わ　　川(カワクボ)久保
一　〃五拾束五わ　　壹里塚
一　〃六拾貳束壹わ　　古屋敷

一　〃八束六わ　　谷地田
一　〃九束貳わ　　中山
惣〆六百四拾四束七わ
明治廿四年
卯九月吉祥日

稻記

一　〃四拾束四わ　　腰瀧澤
一　〃貳拾束七わ　　上新田
一　〃貳拾貳束五わ　　高見
一　〃拾九束壹わ　　古橋場
一　〃六拾壹束三わ　　古屋敷
一　〃九束三わ　　藤ノ畑
一　〃五拾五束　　和長手
一　〃九拾五束壹わ　　仲坪
一　〃五拾七束壹わ　　柳ノ下

一　〃貳拾九束五わ　　朴木田
一　〃四拾六束三わ　　壹里塚
一　〃貳百三束七わ　　清水田
一　〃八束五わ　　谷地田
一　〃八束貳わ　　仲山
計六百七拾七束七わ
明治廿五年
辰八月廿六日刈納申ゆ事

稻刈覺

一　稻拾七束四わ　　上新田
一　同拾八束六わ　　高見
一　同拾五束四わ　　古橋場
一　同六束四わ　　殿畑
一　同四拾四束六わ　　一里塚
一　同百八拾八束四わ　　清水新田

一　同六拾壹束貳わ　古屋敷
一　同八束　谷地田
一　同七束四わ　中山
一　同四拾七束　和長手口
一　同三拾七束　腰瀧澤
一　同八拾七束七わ　中坪
一　同五拾四束七わ　柳ノ下
一　同貳拾七束　朴木田
惣計六百貳拾貳束
明治廿六年
巳九月十四日刈拂

稻記

一　同貳拾五束五わ　上新田
一　同五拾三束五わ　腰瀧澤
一　同貳拾七束五わ　高見

一　同貳拾三束四わ　古橋場
一　同拾壹束五わ　藤ノ畑
一　同九束四わ　中山
一　同拾束　谷地田
一　同參拾壹束七わ　朴木田
一　同五拾束壹わ　和長手
一　同六拾三束四わ　柳ノ下
一　同百拾六束壹わ　中坪
一　同五拾八束四わ　壹里塚
一　同貳百貳拾壹束貳わ川久保
一　同七拾束壹わ　古屋敷
惣計七百七拾三束
明治廿七年
甲午九月十七日刈拂可申ゆ也

稻記

舊八月十二日始
一　四拾五束貳わ　腰瀧澤
一　拾九束　上新田
一　拾束　藤ノ畑
一　拾八束四わ　古橋場
一　拾八束壹わ　高見
一　四拾八束四わ　和長手
一　四拾七束四わ　柳ノ下
一　九拾貳束五わ　中坪
一　百八拾四束壹わ　川久保
一　四拾三束六わ　壹里塚
一　五拾八束壹わ　古屋敷
一　九束三わ　谷地田
一　九束貳わ　中山
一　貳拾七束壹わ　朴ノ木田
計六百三拾壹束四わ
明治廿八年
乙未九月

稻記

舊八月廿四日初
一　拾束六わ　殿畑
一　貳拾八束　上新田
一　貳拾貳束三わ　高見
一　拾六束五わ　古橋場
一　八束四わ　中山
一　八束五わ　谷千田
一　貳拾八束六わ　朴木田
一　貳百八束五わ　川久保
一　五拾束　和奈手
一　五拾束六わ　壹里塚
一　六拾貳束四わ　古屋敷

一　九拾七束六わ　　中坪
一　五拾貳束壹わ　　柳下
惣計六百四拾六(五)束三わ
明治貳拾九年丙申九月
十七日刈拂
七月廿四日大南風アリ大(第)一稻ニ害アリ
當年ハ雪消不早カラ五月上旬ヨリ
長雨三拾日計リ降リ稻ニ大キニ刺
蟲害受其ヨリ六月十二日大洪水ア
リ魚沼川初メ信濃川通長岡町水之
高サ五尺除(餘)川口村往來留メ其ヨリ
南魚沼郡伊勢嶋村ニ於テ土藏貳ツ
家屋四ツ流レ
一米相場五月迄ハ三圓位五月ヨリ九月ハ四圓九拾錢也

覺

舊九月六日刈始
一　六拾貳束貳わ　　古屋敷
一　九拾九束四わ　　仲坪
一　四拾七束四わ　　和長手
一　九束貳わ　　殿畑
一　貳拾六束三わ　　墓之前
一　貳拾壹束六わ　　高見
一　五拾四束壹わ　　柳ノ下
一　五拾貳束五わ　　一里塚
一　拾七束六わ　　古橋場
一　貳拾八束六わ　　朴木田
一　貳百拾五束七わ　　川久保
一　九束壹わ　　谷千田
一　八束貳わ　　中山
一　貳拾三束三わ　　下屋敷(シタノヤシキ)
昨年秋田ヲ造リ本年始メテ稻刈取リ

計六百五拾貳束六(四)わ(七十六)
一　七束　　關下
本年ハ凶耕(作)ニ付田主貳分
小耕人壹ノ刈配方ナリ
小耕人忠右衛門
是ハ和田右衛門拙者方ヘ賃入ナリ
一　五束壹わ　　五枚田
一　貳拾壹束六わ　　桶場
和田右衛門田
是モ秋より和田右衛門拙者方ヘ賃(質カ)
入ナリ小耕人ノ願入ニ付三ケ壹小
耕人分三ケ貳ハ地主ノ方ナリ
小耕人甚藏
惣〆六百八拾六束六わ
明治卅年舊九月廿五日刈拂
維明治三拾丁酉年事ヲ是ニ記ス本年ニ當テ伊勢ニ

天照皇太神宮遷ルヿ一千九百年幸ヒ　天皇陛下ヨリ
二月ヨリ向フ百日間ノ太々御神樂申サレ參宮者ノ數
多之事ハ云ニ不及雪之降リ積ル高サ漸ク四尺位ヘ其
ヨリ春三月土用中ニ貳三度雪降リ農者ハ昨年ノ寒中
大洪水ノ事ヲ考出シ本年ノ行末ヲ安心(案ジカ)爲居內ニ四月
ニ遷リ氣候ハ十分ニ御座ゆ早ヤ田植ニ相成初日ハ五
月七日ニ相始メ天氣打續キ蠶ハ越後ハ十分ニ目的通
リ六月上旬ハ米四斗三升入四圓五拾錢也同月四日ヨ
リ降リ始メ十二日午日ニ當リ信濃川あぶる間川あが
の川魚沼川其外諸川大洪水ニ付南魚沼郡長崎橋多聞
橋のミシテ皆流害シ廣瀨拾三橋皆流シ水害之爲ニ川
邊ノ田畑ハ石原ト成ルニ付テ米壹俵ノ代五圓三拾錢
也六月下旬ヨリ七月上旬迄降リ六日ヨリ八日迄ノ大
洪水也貳度ノ水害爲ニ家屋大ニ流レ長岡町之水深サ
四五尺位ヘ流水シ尙ヲ又寺泊リ大川津之間ニ何ケ村
モ水沈シ是モ山崩爲メ水之深サ壹丈除(餘)其レ付テ通舟

も有之直井津高田町人家大ニ海中ニ流レ水難シ談モ少クナル内ニ光陰ハ如矢早ヤ八月朔日ニ相成リ雲蚊ト云蟲稻ノ穗ニ吸付ハ甚シ其ノ難ヲ見ルニ堪兼テ彼是心配ヲ爲内ニ南魚沼郡米ケ崎村大字蟲野役場ヨリ本縣ヘ小會(照)シ政布(府)ヨリ議士(技師)ヲ小出役場ヘ來席シ除防法(方法)ヲ農者ヘ教ヘ壹反ニ付石油一升五合或ハ魚油ハ壹升又ハ油八合位ヘ水ヲ包ミ卷(捲き)稻ヲ打是等ヲ第一ノ法トス此ノ虫雪降迄も居リ虫害爲稻刈分等ハ村々ニ有之拙村之平均ハ四分ト見定メ律(準)澤大澤ハ特別之無難ナリ本縣平均ハ四分之定メテ後チ檢(約)約之法ハ十分ニ行ヘ稻コキ(扱)米付等モ三度ノ食事ニ雜水粥等ヲ食ヘ無疑(マヽ)故ニ世中ハ登レハ下ル豐有レハ凶有(術)レル者ト考ヘヲ置ク可シ滿六拾年間中必ス有ルス是(術)レ我カ家ノ子孫ハ常々飮食ヲ大切ニ扱子孫之ヲ後世ニ至ル迄テ是行ヲ忘レ不事也

水害ニ付北魚沼郡内ニ堤防費七萬貳千圓許可ス

舊九月十五日頃

相場直段書

米壹俵六圓七拾錢也

下旬ハ

米壹俵代七圓七拾錢也

並酒壹斗代貳圓八九拾錢

貳圓三拾錢鹽壹俵代

五拾七錢也炭拾貫代

貳拾五錢也大工壹人代

貳拾圓也年給金男

拾圓也年奉公金女

三拾七錢油壹升代

四百五拾圓也上等糸直段

舊十二月十九日斗合

米六圓五拾錢

明治卅年

盆內　天氣

八月十五夜　晴天

九月十三夜　天氣

十月八日　極上晴天氣

本年の天氣の惡シキハ非常之事也

覺

舊八月十三日苅始

一　稻拾八束貳わ　下屋敷

一　九束五わ　殿畑

一　拾八束　古橋場

一　貳拾貳束六わ　高見

一　貳拾九束壹わ　墓之前

一　拾壹束四わ　谷千田

一　拾壹束四わ　中山

一　貳拾七束七わ　朴木田

一　六拾九束貳わ　柳之下

一　五拾束　和奈手

一　七拾三束六わ　古屋敷

一　百拾三束六わ　中坪

一　貳百四拾貳束貳わ　川久保

一　五拾四束壹わ　壹里塚

一　七束五わ　五枚田

八月廿九日刈拂

惣〆七百五拾九束(三わ)也

明治戊三拾一年

本年ハ春土用ハ十分蠶ハ五分ト見定メ壹貫目代貳圓四五拾錢夏土用モ十分也ニ付テ米壹俵代六圓五拾錢其ヨリ段々下リ今八月下旬ハ五圓也新米尙安シ八月十六七日ニ八海山ニ雪降リ十八日天氣登リ雨ニ不合ハ皆稻乾上ケ稻之雨ニ不合ル事ハ百年壹度也九月

十九日頃ハ新米壹俵三圓八九拾錢昨年秋トハ事違ヒ喜事ハ如シ山金圓の無事ハ昨年ヨリ無キ生糸上等四百四拾圓也鹽壹俵代壹圓七拾錢位ヘ炭壹俵五拾錢諸品段々下ゐ也

霜ハ九月十九日始メテ降リ十月三日迄の中四度計リ霜降只今ハ炭四拾錢位ヘ是迄ノ天氣善事無常本年ハ

盆天氣ハ中天氣

十五夜中天氣

九月十三夜中(天)氣

十月四日迄テか(掛)苅大根取致シ

明治貳拾九年

大福稻苅帳

丙申冬十月改書　芋川叶屋

覺

舊八月廿三日苅始メ

一 稻拾四束三わ　殿畑
一 〃三拾貳束　墓之前
一 〃貳拾八束　高見
一 〃貳拾九束　古橋場
一 〃貳拾六束　下屋敷
一 〃拾貳束貳わ　谷千田
一 〃拾壹束七わ　中山
一 六拾三束五わ　壹里塚
一 三拾貳束七わ　朴木田
一 五拾七束六わ　和奈手
一 六拾五束五わ　柳之下
一 七拾六束貳わ　古屋敷
一 百三束三わ　中坪
一 八束貳わ　五枚田
一 稻貳百五拾五束貳わ川久保

惣〆八百四拾三束五わ(十六束四わ)
本年正月朔大雪降
明治三拾貳年舊九月廿貳日稻苅納ゐ也

稻乾上ハ舊十月八日漸ク終ゐ也

維ニ鳥渡本年之氣候ヲ廉文書ニテ申ゐ拔テ春之土用前十日も降入口五番ニモ雨降高山ニハ雪モ降リ三月節句ニ雪降其(ヨ)リ四月至リ米價三圓五拾錢本月下旬ニ相成リ桑ノ直段拾五錢位ニ御座ゐ

天氣ハ惡シ寒降ニテ蠶ハ十分ニ相當リ幸ニ生絲品價ニテ壹箇五百六拾圓也金錢運用シ又曰ク夏之土用前十日ヨリ土用中降終リ農者大ニ心配シ中ニ秋ニ飛付テ稻苅ニ相成レバ又來ルベルト十日前ヨリ雨降リ廿日土用ハ大淚雨ヲ降音ハ夜晝屋根より下ハ瀧之音ト昨年ノ秋ハ大違ヘ四拾餘々日之稻仕末ニテあら〳〵かり終ゐ也

舊十月八日書ヲ之

只今ハ新米四三入四圓三拾錢

一 金五圓也　今引
一 金五圓也　大豆
一 金壹圓五拾錢　鹽壹俵
一 金壹圓也　味噌四貫五百目
一 金四拾六錢　炭拾貫匁
本年中ニ來年事考(マヽ)日

盆降　八月十五日夜薄曇リ

九月十三夜雨降リ
十月八日不降薄天氣
十月十日夜雨降
本年六月三日
三日月不見ニ依テ米高價ニ相成りゐ
后來ニ至迄考居可シ

覺

閏八月八日始メ
一 稻拾四束　殿畑
一 〃 貳拾束　高見
一 〃 貳拾八束壹わ　墓ノ前
一 〃 貳拾壹束六わ　下屋敷
一 〃 拾壹束五わ　谷千田
一 〃 拾壹束貳わ　中山
一 〃 貳拾九束五わ　朴ノ木田

一 〃 六拾六束四わ　柳ノ下
一 〃 百拾八束壹わ　中坪
一 〃 五拾四束　和奈手
一 〃 七拾四束六わ　古屋敷
一 〃 五拾三束　壹里塚
一 〃 貳百三拾九束四わ　川久保
一 〃 九束　五枚田
惣〆七百五拾束(ニ)貳わ
舊九月朔日刈拂
平均三升五合
明治三拾三年九月七日乾終ゐ也
維レ本年之氣候ヲ鳥渡記書シ正月朔日雪降リ春ノ土用前ハ天氣惡シ土用五番ニ漸ク清(晴)天ニ相成米壹俵五圓四拾錢其ヨリ四月五月之卓(早)天打續キシ爲メニ六月七月頃ハ五圓三拾錢新米時の九月ハ三圓七八拾錢位十一月頃ハ四圓五拾錢也十月十七日ヨリ雪降リ積始メテ七日間ヘニ六尺餘積シ樹木人家ニ害甚シ其ノ后十一月朔日ヨリ十九日迄テ雪少も不降大ニ暑ニシテ明年ノ事ヲ安心致居ゐ也
又蠶生糸之事ヲ記ス
誠ニ十分當リ生糸ハ最初ハ上等四百八拾圓其ヨリ下リテ八月下旬ニハ三百四拾圓又上リテ九月六日ハ四百五六拾圓ニ相成又下リテ三百八拾圓位ニ相成
相場書記ス　但シ年內中
一 金壹圓ニ付　味噌三〆五百目
一 金壹圓五拾錢　鹽一俵代上等
一 金六圓ハ五圓ヨリ八月迄テ但シ六斗入
一 金四圓五拾錢　豆壹俵代
一 金七拾錢四五月頃
一 金四拾七錢秋初メ　炭拾〆目代
七拾八九錢十月下旬
一 金拾五錢　餅白米壹升代

一 金三拾三錢(上田打)
貳拾八錢(田植取)　壹人代
天氣候ヲ記ス
一 十五夜　盆晴天
一 十三夜　薄天氣
一 十月八日　薄天氣
薄雨降リ
是ヲ見テ明年稻ヲ作ルヲ大專(マヽ)トス

稻記

八月廿二日始
一 稻貳拾五束四わ　高見
一 參拾壹束六わ　墓前
一 參拾九束三わ　朴ノ木田
一 拾九束四わ　殿畑
一 七拾五束　古屋敷
一 五拾七束壹わ　壹里塚

一　貳百六拾六束五わ　川久保
　外貳拾束五わ　新田三枚
一　貳拾九束壹わ　下屋敷
一　五拾八束三わ　柳の下
一　四拾八束六わ　和奈手
一　百貳拾壹束　中坪
一　拾壹束貳わ　谷千田
一　拾束〇五わ　中山
一　八束參わ　五枚田
　惣〆七百八拾六束五わ（八百二十三束）
　明治三十四年舊九月十三日刈拂
　舊九月廿五日干終リ

天氣

一盆　中天氣
一八月拾五夜上天氣
一九月十參夜雨降リ

一拾月八日極々晴天
一拾月十日雨降リ西風大ニ吹きゐ也

米相場

正月二月
一金四圓三拾錢　壹俵代
六七月
一金五圓三四拾錢
十一二月
一金三圓八九拾錢

糸記

一金四百六七拾圓　最初ハ壹箇
九十月
一金四百圓　十二月一五百圓

人足

一金三拾錢田打田植　一金貳拾五錢田草取

年給金

前年通リ

九月
一金五拾五錢　炭拾貫代

平均事

六月
一金壹圓六拾錢　鹽壹俵代
　秋下落ス

覺

舊九月七日苅初メ

一　稻拾八束七わ　殿畑
一　貳拾八束七わ　墓之前
一　貳拾六束壹わ　高見
一　貳拾八束七わ　朴木田
一　八束參わ　五枚田
一　九束貳わ　谷千田
一　八束四わ　中山
一　六拾四束五わ　柳木之下
一　五拾束貳わ　和奈手
一　貳拾五束三わ　下屋敷
一　六拾四束七わ　古屋敷
一　百拾三束壹わ　中坪
一　貳百四拾五束六わ　川久保
　外拾五束四わ　川久保新田三枚
　惣〆六百九拾壹束七わ
　明治三拾五年寅
　苅稻下等見込

記

舊八月拾三日初

一　貳拾七束參わ　朴木田
一　貳拾束七わ　下屋敷
一　貳拾束四わ　殿畑
一　貳拾七束三わ　高見
一　參拾束壹わ　墓之前
一　五拾四束壹わ　和奈手